

【電子カルテ】	大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
1	基本仕様	1 導入及び開発体制	1 納入者は、専任の開発チームで当開発にあたること。なお開発チームの構成員は、豊橋市こども発達センターの業務に精通した者で、提案システムを導入した経験を持つ者を配置すること			
			2 運用検討は「運用検討ワークシート」を元に選択形式で効率良く取り決めが可能なこと			
			3 運用検討部会における、議事録を作成し提出すること			
			4 運用環境が完成した段階で、総合的なリハールを2回以上行い本稼働に備えること			
			5 システム稼働後、立会い業務スキルを有する人員を、1週目は3名以上、2週目は2名以上、各部署に配置し、立会いを実施すること			
			6 システム設計、プログラム製造からシステム総合テストまでの作業、豊橋市こども発達センター職員への操作研修、本稼働前のリハール、本稼働立ち会い、安定稼働までのシステム支援など、全てに対応すること			
			7 システム開発途中においては、随時パッケージソフトを提示し、画面構成および機能、操作性の説明を行い、マスター設定の変更でどのように変化するかユーザーが確認可能なこと			
			8 設置する機器との接続テスト、機能テストおよびプログラムテストは豊橋市こども発達センター職員の立ち会いのもとに行い、その評価を受けること			
			9 プログラムのテストデータは豊橋市こども発達センターの提供するデータを用い、実際の稼働環境に適切なプログラムであるかどうかを確認すること			
			10 システム導入のスケジュールを豊橋市こども発達センターに提示したうえ、進捗会議を月1回以上開催し、豊橋市こども発達センターに書面にて報告すること			
11 本事業は各システムごとに豊橋市こども発達センター業務およびITに精通したシステムエンジニアで構成すること。担当者は正当な理由が無い限り、システム開発初期から本稼働までの期間において変更を行わないこと						
12 システム開発中に発生する懸案事項、問題点に対し請負者側の検討が必要な場合、解決方法を速やかに提案すること						
13 豊橋市こども発達センター職員へ対象となるシステムを運用するために、必要な教育および端末機器などの操作訓練を行うこと。また、教育や操作訓練に必要な操作マニュアルを作成すること						
2	保守管理体制	2 保守管理体制	1 納入した全ての機器、ソフトウェアなどに関して、アフターサービス、修理、部品などの提供、各種相談の受付など連絡窓口を一本化し、豊橋市こども発達センター業務時間である8:30～17:15の間は障害に対処できる体制を確保すること			
			2 ハードウェア/ソフトウェアの一次窓口は一本化されること			
			3 障害時、障害内容と原因および対処などの経過を報告すること。ただし緊急性のある場合は、事後報告も可能なこと			
			4 障害が発生した際は、速やかに保守技術者を豊橋市こども発達センターへ派遣し、障害復旧作業を行うことを基本とする			
			5 ハードウェア障害に関し、24時間対応窓口を設置し緊急時にも遅滞なく対応可能なこと。なお、窓口の所在地は問わないが、技術者を有する拠点は愛知県内を基本とする。なお、愛知県内に拠点が無い場合は、対応する拠点を明記すること			
			6 ソフトウェアに起因する障害には、緊急時にも遅滞なく対応可能なこと。なお、窓口の所在地は問わないが、技術者を有する拠点からリモートメンテナンスによる対応が可能なこと			
			7 ソフトウェアの保守は、市内に拠点があるベンダーもしくは協力会社がシステム保守対応をすること。			
			8 現行のネットワーク機器を本システム更新後も継続して使用する予定のため、提案ベンダーは現行のネットワーク機器に対する保守業務を継続すること。対応できない場合、ネットワーク機器の更新およびネットワーク構築を含めた提案をすること。			
3	端末の管理	3 端末の管理	1 モジュール自動配信が容易に可能なこと（基本プログラムの配信はメーカー作業）			
			2 マスター修正後、ユーザーによる配信作業を必要としないこと			
			3 設定ファイル修正後、ユーザーによる配信作業を必要としないこと			
			4 共通文書のテンプレート作成・修正後、ユーザーによる配信作業を必要としないこと			
			5 機能強化などでプログラム配信が発生した際、起動中の端末へシステム再起動を促すメッセージを表示すること			
			6 情報管理者が各端末ごとのアクセスやデータの保存などについて制限をかけることが可能なこと			
4	端末の操作性	4 端末の操作性	1 操作は簡便で統一性が考慮されていること。Windows 11 Pro以上の機能を有すること（Word、Excelなどのマイクロソフト製のOfficeソフトを必要数インストールすること）			
			2 ユーザーごとに一覧画面の項目表示順の並びを設定可能なこと。また、端末が変わってもユーザーの設定はログインIDにより引き継がれること			
			3 画面解像度ごとにユーザーが設定した画面配置を記憶可能なこと			
			4 画面解像度ごとにユーザーが設定するフォントを記憶する場合、以下が可能なこと ・フォントの種類とフォントサイズは患者一覧画面とカルテ画面上から直接設定可能であること ・変更したフォントは、その子画面へ引継ぎが可能であること ・端末が変わっても操作者の設定はログインIDにより引継ぎが可能であること			
			5 画面解像度はUXGA（1600×1200ピクセル）以上の高解像度モニターに対応していること			
			6 登録・修正・削除などのボタンに色を付け、視覚的に判別が容易であること			
			7 患者パネルは男性・女性・性別不明で色分けが可能なこと			
			8 各個人ごとの日本語辞書の作成が可能なこと			
5	拡張性	5 拡張性	1 ソフトウェアの仕様変更は、可能な限りマスターメンテナンスで対応が可能なこと			
6	システムのメンテナンス	6 システムのメンテナンス	1 情報システムは24時間365日の安定した連続運用が可能であること（制限がある場合は入札提案時に通知すること）			
			2 電子カルテシステム、オーダリングシステム、医事会計システムなどの基幹業務システムを停止することなく、データベースのバックアップなどのメンテナンスが可能なこと			
			3 プログラムを改修せずに、マスターや設定ファイルの更新作業でシステム保守が行える仕組みをもっていること。またその方法はユーザー側の要求に応じて情報提供可能なこと			
			4 マスターや設定ファイルの変更の動作確認を行うため、標準機能としてテスト環境が構築されていること			
			5 テスト環境から本番環境へ、テーブル単位のマスターが移行可能なこと。また、その逆も可能なこと			
			6 設定ファイルは一元管理されていること。ただし端末ごとに設定内容の変更、削除も可能とし、各部署の運用に柔軟に対応可能なこと			
			7 設定ファイルは専用の設定ツールを持ち、保守性が高いこと			
			8 マスター、設定ファイル、文書のテンプレートはサーバーで一括管理し、ユーザーの配信の作業が発生しないこと			
			9 診療科、部署、豊橋市こども発達センター職員（システム利用者）、運用制限時間など、豊橋市こども発達センターの基本的な組織・運営に関わる情報について、変更が生じてマスターの設定により画面、帳票の修正が容易に可能なこと。ただしデータの追加などにより画面や帳票のレイアウトが異なる場合や特殊設定が必要な場合は、この限りではない			
			10 マスターの内容を随時変更する必要がある場合は、マスター保守画面を開いて、マスター登録・更新が可能なこと			

【電子カルテ】	大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
			11 病名や医薬品に関するマスターをオーダリングシステム、電子カルテシステム、医事会計システムなどに登録する場合、MEDISの標準マスターより提供されるCD-ROMなどの電子媒体から登録が行えること。(追加、更新時に対応)。			
		7 システムの信頼性	1 基幹業務システムの以下部品の基幹スイッチを冗長化し、万全なシステム障害対策を行うこと(障害発生時のバックアップ、データ復元が可能な仕組みを有すること) ・ディスク、ストレージ、電源ユニット			
			2 オーダリングシステムや電子カルテシステムが停止した場合でも、部門系システムでのローカル運用ができるシステムであること(オーダリングシステムや電子カルテシステムから部門システムへのデータ取り込みについては、伝票による情報伝達と手入力によってローカル運用が可能であるなど)			
		8 システムの機能	1 各システム間の円滑な情報連携を実現すること(既存の継続使用システム、医療機器、設備機器との接続においても同様とする)			
			2 オーダリングシステム、電子カルテシステムを基幹システムとして、院内各部門が円滑に運用できるようシステム機能上の配慮をすること			
			3 電子カルテシステムや部門システムなどが同一のPC上で稼働し、複数の業務システムを利用可能なこと			
			4 電子カルテシステムと各部門システムとの間で、Webを利用した情報連携が可能なこと			
			5 診療記録や画像情報、検査結果には自由に付箋を貼り付けて、後で一括参照できること			
			6 カルテ開示の項目設定と一括出力が行えること。また、カルテ出力は、期間指定、病名の有無、出力情報選択、保険種別に可能なこと			
			7 外来患者一覧画面は、あらかじめ設定した情報の表示・非表示が反映されていること			
		9 データの一元管理・共有化	1 患者の基本情報(感染症、アレルギー、血液型、身長・体重を含む)は、一元管理されると同時に、他機能の画面や他部門システムなどでも利用可能なこと			
			2 予約の情報(診療、検査、リハビリ、透析などすべて)は、一元管理されると同時に、他機能の画面や他部門システムなどでも利用可能なこと。また、予約時刻重複チェックが可能なこと			
		10 セキュリティ	1 機密保護対策として、ユーザーIDおよびパスワードによる認証を行うこと			
			2 パスワードは暗号化を可能とし、マスターメンテナンス画面やデータベース直接参照でも読み取りできない状態にすることが可能なこと			
			3 利用者ごとにグループ(職種、役職など)が設定可能なこと。また、利用者ごともしくは利用者が所属するグループごと(職種、役職など)に利用制限を設定可能なこと			
			4 電子カルテ画面から部門の検査・治療所見の入力画面への移行には部門登録されている医師のみを許可するアクセス権限の管理ができること			
			5 電子カルテへのログイン者情報は、診療記録の記載者や更新者として反映されること			
			6 導入予定の全サーバは、定期的(月1回程度)にウイルスチェックを行い、感染の防止対策ができる仕組みを持つこと			
			7 USBポートを使用する各種メディア装置への入出力制限が可能なこと			
		11 運用説明および操作説明	1 豊橋市こども発達センター情報担当者に対して以下の教育を行うこと。 (医療費改正や職員の異動などに伴うマスター管理を円滑に行うことも念頭にいれること) ・システムの説明、操作教育			
		12 病院職員に対する教育研修	1 豊橋市こども発達センターの情報担当者が、緊急事態発生時にベンダーのシステム技術者からの電話による説明を理解できるよう、情報システムに関する教育を実施すること			
		13 その他	1 要求水準に含まれている業務ソフトウェア類を、環境含めハードウェアなどにインストールし納入すること			
			2 提案する電子カルテシステムは、療育型施設に対して10施設以上の導入実績があること。機能を有している場合、導入実績のあるシステムの後継バージョンでも可とする。			
			3 提案する電子カルテシステムは、精神科を有している施設に対して25施設以上の導入実績があること。機能を有している場合、導入実績のあるシステムの後継バージョンでも可とする。			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
1 基本仕様	1 共通	1 操作者のユーザーID（職員コード）とパスワードの入力で利用可能なこと また、パスワード変更が可能なこと			
		2 パスワードは暗号化を可能とし、マスターメンテナンス画面やデータベース直接参照でも読み取りできない状態にすることが可能なこと			
		3 初期画面に掲示板を備えてあること。また利用者ごとに既読・未読の管理が行えること			
		4 機密保護機能（職員コードとパスワードの妥当性チェック、職員の職制に応じた業務メニューの限定、職員の職制に応じた機能の制限）を有すること			
		5 パスワードは、操作者以外にはわからないようにすること。また、随時画面上で変更が可能なこと			
		6 パスワードは、有効期限の管理が可能なこと。有効期限が切れた場合は、システムにログインできないこと			
		7 一定期間が経過したパスワードは、変更を要求する督促が可能なこと。また督促時にパスワードの変更が可能なこと			
		8 操作者情報（氏名、所属、部署）は常に画面に表示してあること			
		9 操作者情報は、ログインした職種ごとに色分けされ、指示医選択後でも視覚的に認識しやすいこと			
		10 指示医選択はカルテを開く際に選択するか、オーダー等医師の承認が必要な行為を行う際に選択するか、豊橋市こども発達センターの運用ポリシーに合わせ柔軟に設定可能なこと			
		11 選択した指示医は、目的の操作や機能画面終了時に指示医選択状態を解除し、意図しない指示医で登録されないよう配慮されていること。指示医の選択解除は病院の運用に合わせて容易に変更可能なこと			
		12 端末離席時に、コンピュータをロックし他者の不正アクセスを防ぐことが可能であること。またロックした操作者は画面に表示されること			
		13 業務に支障を出さない為、必要時はロック者以外が強制的にロックの解除が可能なこと			
		14 強制ロック解除を行った時は、ロック解除時間・ロック解除者情報と、開いていたカルテの患者情報をロック者へ伝達可能なこと			
		15 ログイン後、一定時間無操作の場合、自動ログアウトが可能なこと			
		16 自動ログアウトの際、未登録の一時データがある場合の動作を設定で指定できること			
		17 自動ログアウトとなったとき、ログインしていた職員へ、伝達機能で自動ログアウトされたことが伝達されること			
		18 現日時を常に表示でき、一定時間無操作であれば、自動的にロック可能なこと			
		19 各業務は機能ボタン、またはメニューバーから選択可能なこと			
		20 メイン画面・カルテ画面の上部メニューは、キーボードによるショートカットキーを用いて操作負担を軽減可能なこと			
		21 メイン画面・カルテ画面の機能ボタンは、マウスのホイール機能と連動していること			
		22 ボタン表示順を、職員ごとで設定可能とし、どの端末でも同じ表示順になること			
		23 機能ボタンに親子関係を持たせ、親ボタン押下時に子ボタンを表示可能なこと			
		24 操作者ごとに良く使う機能ボタンを固定表示可能とすること			
		25 操作者が、よく使う機能ボタンのみを表示することが可能なこと			
		26 患者（外来）の一覧表示が可能なこと。また一覧表示から直接患者選択が行えること			
		27 外来患者一覧はタブで表示され、簡単に切り替え可能なこと			
		28 外来患者一覧を複数起動可能とし、異なる予約項目ごとにタブから切り離し、別ウィンドウで同時参照可能なこと			
		29 外来患者一覧にて、複数のタブを展開している状態を操作者ごとに記憶可能なこと。また次回ログイン時に前回終了時の状態でタブが展開され、即座に業務に入れること			
		30 外来患者一覧をタブから切り離し、別ウィンドウで同時参照可能なこと			
2 患者検索	2 患者検索	1 患者検索では文字検索が可能なこと。カナ・漢字での検索が完全一致だけでなく、検索語を含む等の条件も指定可能なこと			
		2 患者検索では生年月日でも検索が可能なこと。			
3 外来患者一覧	3 外来患者一覧	1 日付を選択することにより、該当日の表示に切り替わること			
		2 名前の読み、年齢、性別、患者IDが表示できること			
		3 来院理由を10文字以上で表示できること			
		4 操作者が医師の場合、担当する予約項目のスケジュールを表示すること			
		5 医事システムでの受付情報（受付時間・受付番号・受診科）を表示すること			
		6 一覧表はシステム設定により、表示色の変更が可能なこと			
		7 受付後の患者待ち時間が一覧上で把握可能なこと			
		8 一覧上にて、患者に対するフリーコメントが編集可能なこと。また患者情報への反映も自動で行えること			
		9 患者の診察状況により、一覧行色が色分けされて表示可能なこと (診察状況は、未来院、診察待ち、診察一時終了、診察終了、キャンセルの区分)			
		10 患者の診察状態区分は、豊橋市こども発達センターの運用に合わせ最大10個まで任意の区分を設定可能なこと。また各区分に対して表示色を設定可能なこと			
		11 診察状態区分は、豊橋市こども発達センターが確認が容易な名称へ変更可能なこと			
		12 外来患者一覧から「受付」が処理が可能なこと			
		13 外来患者一覧から、ワンクリックで患者の簡易的なサマリーが表示可能なこと。またワンクリックで編集画面を展開可能なこと			
		14 外来患者一覧の表示順を表示項目のクリックでソート可能なこと			
		15 フォントサイズと種類変更がサブ画面を開かず可能なこと。カルテ以外の子画面にフォントサイズが引き継がれること			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考			
		16	画面表示色の変更がサブ画面を開かずに可能なこと。全ての画面に画面表示色が引き継がれること					
		17	離席機能をワンクリックで起動可能なこと					
		18	外来患者一覧は、機能ボタン等を非表示にして画面に一覧の全画面表示が可能なこと					
		19	部門照会において、オーダー進捗ごとに背景色が自動変更されること					
		20	一定間隔で外来患者一覧が自動更新されること					
		21	外来当日の自科オーダー進捗（処方、注射、検査、放射線、生理、汎用）を確認可能なこと。					
		22	外来患者一覧の同姓同名は当日の外来患者間でチェックできること					
		23	一覧の内容をCSV出力可能なこと					
		24	カルテ起動した患者を患者番号入力欄に履歴表示可能とし、履歴から患者を選択することで、その患者のカルテを起動できること					
		25	外来患者一覧で患者選択時に該当患者の生活歴、病歴管理情報が表示可能なこと。					
		4	部門照会	1	表示されている一覧から、カルテ画面を表示可能なこと			
				2	部門照会はタブ表示とし、他の一覧画面（外来患者）と同時に参照・操作が可能なこと			
				3	部門照会は、機能ボタン等を非表示にして画面に一覧の全画面表示が可能なこと			
				4	部門照会において、オーダー進捗ごとに背景色が自動変更されること			
				5	部門照会画面から選択した結果について、ナビゲーション機能に登録可能なこと			
		5	カルテ画面	1	紙カルテからの移行を考慮し、カルテ画面はカルテ2号紙イメージで、診療記録領域とオーダー指示領域とが分かれて表示すること			
				2	過去カルテの参照は、日ごとに簡単に切り替えが可能なこと			
				3	カルテ画面には患者の過去のオーダー履歴を表示し、ドラッグ&ドロップで流用（DO）可能なこと			
				4	カルテ画面には入力したオーダーの情報を表示すること			
				5	オーダー入力方法はDO入力、フォルダーウィンドウからのセット入力、各種オーダー入力ウィンドウからの新規入力の3種類以上の入力方法を可能とすること			
				6	過去のカルテ画面に表示されているオーダー内容を容易に流用（DO）可能なこと			
				7	表示されている情報に関して、そのオーダーに応じた編集作業が可能なこと			
				8	カルテ画面は、依頼日ベース又は実施日ベースでオーダー情報・診療記録情報を表示可能なこと			
				9	オーダー指示欄の表示は、依頼日／実施日で表示を切り替えることが可能なこと。表示の切り替えは、カルテ画面内でワンクリックで可能であり、即時反映されること			
				10	他端末で同一患者のカルテが開かれた時、カルテ同時参照中が分かるメッセージが表示されること			
11	他端末で更新のあったオーダー情報を、画面を閉じないでワンクリックでカルテ画面へ反映可能なこと							
12	未来日に実施するオーダー情報を集約して表示可能なこと							
13	当日カルテと過去カルテを別ウィンドウで同時参照が可能なこと							
14	当日カルテを参照しながら、各種オーダー指示画面を別ウィンドウで同時操作可能なこと							
15	オーダー記載欄を、自科・全科・任意の複数科で指定可能なこと							
16	カルテ画面の診療記録欄を、入力した職種で指定可能なこと。また職種は複数指定が可能なこと							
17	カルテ画面の診療記録欄を、自記録のみ表示を可能とすること							
18	診療記録、オーダーの仮登録（事前登録）が可能なこと							
19	仮登録（事前登録）データは、ワンクリックで登録、流用が可能なこと							
20	仮登録（事前登録）データ登録時に、データの公開・非公開を指定可能なこと							
21	仮登録（事前登録）データを集約して表示可能なこと							
22	仮登録（事前登録）データが登録されている場合、登録有りを示す記号をカルテ画面上に表示し、一目で確認可能なこと							
23	仮登録（事前登録）データが非公開の場合は記号を表示しないこと							
24	仮データ登録（事前登録）機能は、職制により利用権を設定可能なこと							
25	仮データ登録（事前登録）後でも、公開範囲の設定が変更可能なこと							
26	仮データが複数登録されている場合、個別にデータの流用、削除が可能なこと							
27	医師が2つ以上の科に所属するとき、再度カルテ起動することなく科を変更することが可能なこと							
28	オーダー記載欄、診療記録欄を保険情報による表示指定が可能なこと							
29	権限を持つ職員は、オーダー編集画面を開かずに保険情報を変更可能なこと							
30	医師が、自分で登録したデータのみオーダー記載欄に表示可能なこと。							
6	カルテレイアウト変更機能	1	カルテ内のサブウィンドウに診療支援の高、以下の情報が表示可能なこと ・DO領域情報 ・指示簿情報 ・予約情報 ・病名情報 ・紹介状情報 ・他端末入力情報					
		2	診療記録の記載時間短縮のための、簡易入力ツールが実装されていること					
		3	カルテ画面内のサブウィンドウは、利用者ごとに初期表示項目・表示位置を設定可能なこと					
7	DO領域	1	オーダー種ごとに表示していること					
		2	当日カルテへのドラッグ&ドロップ操作でDO操作可能なこと					
		3	右クリックメニューで、カルテ画面と同等の操作が可能なこと。オーダーの進捗により、修正・発行・削除・中止等が可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		4	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		5	DO領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
		6	オーダー種ごとに表示内容の展開有無を設定可能なこと		
	8 病名領域	1	表示条件を設定可能なこと（有効病名/主病名、自科・全科、患者への告知保護）		
		2	表示病名をダブルクリックすると、病名が選択された状態で病名修正画面が表示されること		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	病名領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
	9 紹介状領域	1	紹介豊橋市こども発達センター名が表示されていること		
		2	他豊橋市こども発達センターへの文書の返信状態が表示されていること		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	紹介状領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
	10 予約領域	1	ワンクリックで当日のみ表示か、全ての予約表示が表示条件の変更が可能なこと		
		2	予約日/予約科目を表示可能なこと		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	予約領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
		5	予約日を変更した場合、予約簡易履歴画面で、誰がどのように変更したか履歴表示され、元の予約日も把握できるようにすること。		
	11 他端末領域	1	同一患者を他の端末で操作した時、その端末情報を表示すること（端末名/操作者/部署）		
		2	他の端末で操作しているオーダー情報が表示されていること（新規/修正/削除/中止されたオーダー情報）		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	他端末領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
	12 簡易所見領域	1	チェックボックスにチェックするだけで、簡単に所見登録が可能なこと		
		2	所見内容はユーザーと協議の上、要望に合わせた設定が可能なこと		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	簡易所見領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
	13 簡易問診領域	1	チェックボックスにチェックするだけで簡単に問診登録が可能なこと		
		2	問診内容はユーザーと協議の上、要望に合わせた設定が可能なこと		
		3	カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと		
		4	簡易問診領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと		
	14 カルテボタン設定	1	カルテ内の機能ボタンを利用者ごとに表示順も含め設定可能なこと		
		2	カルテボタンへ表示する機能は、ユーザーと協議のうえ要望に合わせた設定が可能なこと		
	15 患者履歴	1	患者履歴について患者の来院履歴、予約状況を表示すること		
	16 カルテ履歴	1	オーダー日単位にオーダー種（実施、未実施）と診療記録の内容が一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと		
		2	オーダー種単位で集約して、複数日の詳細表示可能なこと		
		3	診療記録は全記録、自記録のみの表示切り替えが可能なこと		
		4	オーダー情報は全科、自科分のみの表示切り替えが可能なこと		
		5	カルテ画面起動時に、自動でカルテ履歴情報を起動可能なこと		
6		文字列検索が可能なこと			
7		複数のオーダー種を指定して参照可能なこと			
8		処方・注射オーダーにて、特定薬剤がオーダーされている場合、カルテ履歴画面にてマークが表示されること			
9		カルテ履歴画面に表示する特定薬剤のマークは、豊橋市こども発達センターごとで自由に指定可能なこと			
10		記載日単位に診療記録の内容が表題別に一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと			
11		オーダー日単位にオーダーと診療記録の明細を表示可能なこと			
17 諸記録歴	1	記載日単位に診療記録の内容が表題別に一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと			
	2	表題ごとに集約して、複数日の詳細表示可能なこと			
	3	全記録、自記録のみの表示切り替えが可能なこと			
	4	外来時情報のみの表示切り替えが可能なこと			
	5	カルテ画面起動時に、自動で諸記録歴を起動可能なこと			
	6	文字列検索が可能なこと			
	7	複数の表題を指定して参照が可能なこと			
18 カルテカレンダー	1	患者の過去の受診歴をカレンダー形式で参照可能なこと			
	2	カルテ画面より、カルテカレンダー画面が起動可能なこと			
	3	カルテカレンダーは以下の機能を有すること			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		4 操作者の任意で3か月表示/6ヶ月表示を、ワンクリックで切替え可能なこと				
		5 カルテ記載がある日付にマークが付き、容易に把握可能なこと				
		6 日付を選択することで、その日の内容をカルテ画面で確認可能なこと				
		7 他科の記載がある場合、記号が色分け表示され容易に把握可能なこと				
		8 オーダー種ごとで絞り込み表示が可能なこと				
		9 診療記録は全職種、自記録、職制で表示の切り替えが可能なこと				
		10 オーダー情報は全科、自科、指定した科、保険情報で表示切替が可能なこと				
		11 カルテ画面起動時に、自動でカルテカレンダーを起動可能なこと				
		19 薬歴	1 処方オーダー、注射オーダーの指示内容が時系列で表示されていること			
		2 投与開始日、薬剤名、単位、用法手技は表示されていること				
		3 患者の薬剤禁忌情報が表示されていること				
4 表示期間の変更が可能なこと						
5 実施/未実施の指定が可能なこと						
6 薬剤を指定して、DI表示が可能なこと						
7 一覧表示の形式を【薬剤用法で集約】、【RP単位で集約】、【薬剤名で集約】で切り替え可能なこと						
8 一覧表示は一日量とCP換算値を選択して表示可能なこと						
9 薬歴情報を印刷可能なこと						
10 処方オーダーについて、服用開始日、服用開始時間、用法に従い、実際に服用する量が表示されていること						
20 付箋紙	1 カルテ画面へ付箋紙を貼れること					
2 付箋紙には記載者・記載日を表示可能なこと						
3 付箋紙の色やフォント変更が設定可能なこと						
4 作成者の任意で表示職制、更新職制を指定可能なこと						
5 作成者の任意で表示可能職員、更新可能職員を指定可能なこと						
6 作成者のみ表示可能な付箋を作成できること						
7 作成者の任意で表示期間を指定可能なこと。また表示期間が過ぎた場合、カルテ上から自動的に非表示になること						
8 付箋紙の剥がし忘れを防止する目的で、予め表示期間を設定可能なこと。表示期間の設定は職種ごとに指定が可能なこと						
9 定型文から付箋紙を作成可能なこと						
10 新規作成時、作成した職種に応じて自動的に、付箋紙の背景色が変わること						
11 付箋紙の更新時、更新者の職制に応じて自動的に背景色が変わること						
21 重要日	1 カルテ記載として重要な日をマークし付箋紙で記載可能なこと					
2 重要日付箋紙には記載者・記載日を表示可能なこと						
3 重要日付箋紙の色やフォント変更が設定可能なこと						
4 作成者の任意で表示職制、更新職制を指定可能なこと						
5 定型文から付箋紙を作成可能なこと						
6 新規作成時、作成した職種に応じて自動的に付箋紙の背景色が変わること						
7 付箋紙を更新した際、更新者の職制に応じて自動的に背景色が変わること						
22 統合セット	1 各種オーダー情報をセットとしてフォルダーに登録が可能なこと					
2 フォルダーには病院セット、科セット、医師セット、コメディカルセット、患者セットの分類が可能なこと						
3 病院セット、科セットには利用権があり、セットの作成や表示に制限を設けることが可能なこと						
4 病院セットは管理者のみ更新操作が可能と可能なこと						
5 科セットは設定により他科のセットを参照/流用が可能なこと						
6 セット展開時に患者へ病名の自動登録が可能なこと。また病名のみ登録も可能なこと						
7 セット展開時に患者へ予め終了日を指定した病名の自動登録が可能なこと						
8 カルテ画面起動時に、自動でセット情報を起動可能なこと						
9 セットに登録されている文書作成オーダーの文書テンプレートが削除されていた場合、メッセージを表示しセットの再登録を促すことが可能なこと						
23 日本語入力	1 日本語入力辞書がユーザーごとに管理可能なこと					
2 管理されたユーザー辞書ファイルは、システム立ち上げ時に利用者ごとでダウンロードされ、どの端末でも利用者ごとの辞書ファイルを設定することが可能なこと						
24 画面色	1 患者一覧系の画面色は、操作者ごとに6種類以上のパターンから自由選択可能なこと					
2 画面背景色は豊橋市こども発達センターとの調整で色の追加が可能なこと						
3 画面背景色は色覚障害のある職員にも認識しやすい配色であること						
25 患者パネル	1 患者の性別によるピクトグラムを、患者パネルに表示可能なこと					
2 患者パネルの背景色で性別が分かること。また、性別不明も識別可能なこと						

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		3 患者パネルには患者保険情報を表示可能なこと。また保険切り替えを行った場合、切り替えた保険情報が各オーダー指示に引き継がれること				
		4 ミドルネームが表示可能であること。				
		5 当日に開いた患者のカルテを、再度患者選択・患者IDから検索しなくても、ワンクリックで起動可能なこと				
		6 患者パネルには患者の禁忌情報などがアイコンで表示され、状況が一目で把握可能なこと				
		7 患者パネルのアイコンは以下の項目について表示されること 紹介情報、感染情報、障害情報、一般アレルギー情報、薬剤アレルギー情報、食物アレルギー情報、職員フリートメント情報、血液型、身長、体重、BMI				
		8 血液型の文字色を病院の任意で変更可能なこと				
		9 生年月日表示の西暦表示・和暦表示が可能なこと				
		10 患者パネルのアイコンは、登録情報の有無により色分け表示され、把握が容易なこと				
		11 患者パネルのアイコンから、アレルギー情報や障害情報の編集画面をワンクリックで起動可能なこと				
		12 患者の麻薬使用有無が表示され、状況が一目で把握可能なこと				
		13 患者のワクチン情報が表示され、状況が把握可能なこと				
		14 同姓同名患者の有無を、カルテ画面上で容易に確認可能なこと				
		26 排他制御	1 複数の端末で同一患者のカルテを開いた時、該当端末の利用者にカルテ同時参照中が分かるメッセージを表示可能なこと 2 同一患者を開いている端末名と利用者は、全て参照可能なこと 3 同じオーダー項目に対して、修正・中止・削除等の操作を行った場合は、排他制御が掛かり、操作できない旨のメッセージを表示すること 4 他の端末で操作中のオーダー情報を参照できる機能を有すること 5 チェックが必要なオーダーは、他端末で入力中のオーダーもチェック対象とすること 6 同一患者のオーダーに更新が発生した時は、他の端末でデータ更新が発生した旨のメッセージが表示されること 7 カルテ画面を閉じずに、最新情報を表示可能なこと 8 他端末とのオーダーチェックにおいて重複などがあり、オーダー登録を取りやめた状態で、他端末の対象オーダーが登録されずにキャンセルされた場合は、オーダー登録がされていない旨を操作者に伝達可能なこと			
		27 その他	1 自費・自賠・労災の保険については、保険指定により該当カルテのみが表示されること 2 カルテに表示されているテキストは、任意に選択した範囲をクリップボードにコピー可能なこと。また患者名を選択した場合は、患者氏名、患者番号、性別、生年月日がコピー可能なこと			
28 データ復元	1 診療記録やオーダーを入力中に不慮の事態でシステムがダウンした場合でも、次回システム起動時に入力中だったデータを復元可能なこと 2 復元データがある患者のカルテを起動する際、復元データがある旨のメッセージを表示すること 3 データの復元は、操作者の任意で行えること 4 データの復元および削除の前に、復元対象のデータの内容を確認可能なこと。その上で復元か削除かを選択可能なこと 5 排他制御機能と連動し、他職員が対象データを操作中または該当データが登録済みなどの状況をチェックする機能を有していること 6 他職員が入力していたデータの復元がおこなえること。またその際、更新端末は復元をおこなった端末、更新時間は復元を行った時間となり、真正性を担保可能なこと					
2 患者診療情報の時系列一覧表示機能（メディカルシート）	1 患者診療情報の時系列一覧表示機能（メディカルシート） 1 診療記録、各種オーダー情報を時系列に参照可能なこと。また一覧画面上で新規オーダー登録や修正等の操作が可能であること 2 時系列表示には判りやすいアイコンでオーダー有無が表示されること 3 アイコンをクリックすると記録及びオーダー詳細内容が表示されること 4 記録及びオーダー詳細内容の表示領域は、任意で非表示にすることが可能なこと 5 一覧表より各種オーダーの追加・修正・削除が可能なこと 6 未来日の予約情報も表示されること 7 診療記録、各種オーダー情報が自科分と全科分の表示切替が可能なこと 8 外来診察の表示が時系列（日別）に把握可能なこと 9 診療記録、各種オーダーなどの表示形式は、操作者ごとに設定可能なこと 10 診療記録・各種オーダーの詳細情報を、日ごとやオーダー種ごと、任意の選択により集合表示可能なこと 11 診療記録、各種オーダーなどにおいて、実績または予定のある日付へワンクリックで移動が可能なこと					
3 患者サマリー機能	1 患者サマリー機能 1 現病歴など患者状態を一目で把握できる情報を登録・参照可能なこと。また登録した内容が、カルテを開いた時に自動表示されるよう操作者ごとに設定、変更可能なこと 2 簡易サマリー情報として、科別情報・全科共通情報の簡易サマリー（現病歴）を登録、参照可能なこと。登録したサマリー情報は変更履歴を持つこと 3 患者情報として、属性・身体情報、感染症情報、禁忌情報、アレルギーなどの患者情報を登録参照可能なこと 4 食事・薬物・運動などの情報を登録参照可能なこと。また登録情報の種類は上記以外の情報へ変更可能であること 5 登録された簡易サマリー情報はカルテを開くことなく外来患者一覧で参照可能なこと					
4 診療情報（カルテ・オーダー情報）データ検索・抽出機能	1 多目的検索 1 診療情報（カルテ・オーダー）の検索を可能とすること（例：病名と特定薬剤処方患者検索等） 2 抽出条件は保存可能なこと。また保存した抽出条件を職員間で流用可能なこと 3 検索結果をCSVファイルに出力可能なこと 4 使用制限が可能なこと 5 使用履歴を採取し不正使用抑制が可能なこと					
5 伝達・患者/職員グループ機能	1 伝達事項機能 1 伝達事項送受信機能（簡易メール機能）が電子カルテに組み込まれていること 2 伝達事項送受信機能は、電子カルテにログインせずとも使用可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		3 職員個人/職種/科/部署/任意のグループなどへメールを送信可能なこと				
		4 複数の送信先をあらかじめ組み合わせてメーリングリストして保存可能なこと。				
		5 メールには患者カルテを関連させて送信可能なこと。受信者はメール画面から関連したカルテ（オーダー）画面を開くことが可能なこと				
		6 メール着信のポップアップ表示が可能なこと				
		7 送信者が受信者の、メールの未読/既読管理が可能なこと				
		8 メールの一括削除機能があること				
		2 コミュニケーションフォルダー機能	1 任意の目的（特殊症例・NST・面会謝絶・退院サマリ未作成など）で患者をフォルダー管理可能なこと			
		2 フォルダーは院内共通用と操作者用に区別して管理可能なこと				
6 カルテ参照ログ	1 参照ログ	1 カルテ記載以外に、システムの参照履歴が取れること。また参照履歴には、システム起動と終了情報、カルテの起動と終了情報、カルテ印刷情報、一覧画面からの直接病名参照をログとして保持すること				
		2 参照ログの抽出は以下の条件で可能なこと ・対象日付 (FROM TO) ・時間 ・患者番号 ・操作者 ・指示医				
		1 カルテの文書作成で登録された文書内容を一覧表示可能なこと				
		2 患者番号・作成日・文書確定日・レポート登録日 (PDF化して登録) ・テンプレート名から検索可能なこと。また文書の確定/未確定を指定して絞り込みも可能なこと				
		3 一覧表示された文書サマリーから、文書内容の表示が可能なこと。また、表示された文書は、修正不可なこと				
		4 一覧表示された文書サマリーから、文書確定・確定取り消しが可能なこと				
		5 一覧表示された文書からレポート登録 (PDF) が可能なこと				
		6 文書サマリーはタブ表示とし、他の一覧画面と同時に参照・操作が可能なこと				
7 文書サマリー	1 文書サマリー	7 カルテ画面が起動可能なこと				
		8 簡易カルテ照会	1 サーバーに障害が発生しても、カルテの情報を参照が可能なこと			
		2 オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上でのオーダー情報を参照可能なこと。				
		3 オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での診療記録を参照可能なこと。				
		4 オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での検査結果を参照可能なこと。				
		5 オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での患者情報を参照可能なこと。				
		6 表示範囲を設定可能なこと				
9 オンライン資格確認	1 基本	1 オンライン資格確認に対応していること				
		2 医事システムで、共有フォルダに格納された同意ファイルを取り込むことが可能なこと				
		3 資格確認端末に格納された薬剤情報、特定健診情報を、電子カルテシステムに取り込むことが可能なこと				
	2 情報閲覧	1 有資格者が、電子カルテシステム上から患者の薬剤情報・特定健診情報の取得要求が可能なこと				
		2 情報の取得要求は特定健診情報、薬剤情報の指定を有資格者が任意に指定可能なこと				
		3 情報の取得要求は薬剤情報は、期間を指定して取得可能なこと				
		4 情報の取得要求は同意情報の取得日時を確認可能なこと				
		5 要求した患者の薬剤情報・特定健診情報を、電子カルテシステム上で参照可能なこと				
		6 要求した患者の診療情報・手術情報を、電子カルテシステム上で参照可能なこと				
		7 取得した情報の履歴は一覧で表示可能なこと				
		8 取得した情報は、取得状況の進捗を確認可能なこと				
		9 取得した情報の区分を確認可能なこと				
	10 取得日時、取得期間（薬剤情報のみ）を確認可能なこと					
11 取得した情報の詳細内容を確認可能なこと						
12 確認した情報は、患者別のフォルダにPDFで格納可能なこと。格納した情報は、操作者の任意で参照可能なこと						
3 被保険者番号	1 医事システムより送信される被保険者番号について、枝番を含めて取り込み可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
1 電子カルテ機能	1 真正性、見読性、保存性、操作性を確保すること	1 システムは職員IDとパスワードの組み合わせなどでユーザーを識別して認証が可能なこと				
		2 カルテ情報の利用に際して科別指定（全科指定も含む）範囲指定が可能なこと				
		3 カルテ情報はオーダー情報と問診／所見、治療計画等、紙カルテの2号紙イメージで表示記載が可能なこと				
		4 カルテの代行入力を可能とし、その際は代行入力者、指示医の管理が可能なこと				
		5 カルテ情報の更新に際しては、追記式で保存が可能なこと				
		6 以下の権限設定ができ、権限を細分化することで過失を予防可能なこと ・操作毎に権限付与（参照、修正、進捗更新、削除） ・オーダー毎に権限付与				
		7 カルテ情報は以下の項目単位で表示が可能なこと ・オーダー日（記録日） ・実施日				
		8 情報の保存タイミングを制御するための確定操作（オーダー登録、帳票印刷、カルテを閉じるなど）が可能なこと				
		9 代行入力により更新した患者の一覧を管理可能なこと				
		10 医師により代行入力の確認及び承認操作が可能なこと				
		11 カルテ履歴は、以下の内容が一覧で把握でき、指示により詳細も表示可能なこと ・オーダー日 ・オーダー種				
		12 カルテ履歴の明細にて絞り込み表示が可能なこと				
		13 カルテ情報は必要に応じて印刷可能なこと（オーダー情報、問診／所見、シエマ、画像など）				
		14 カルテ情報の参照権限は職制別に設定可能なこと				
		15 システムで利用する部分のデータは、固定ディスクに常駐とし5年間以上の保存が可能なこと				
		16 システムの変更に対して、蓄積したデータは容易に継続的利用が可能なこと				
		17 故意または過失によるデータの破壊を防ぐ機能を備えていること				
		18 データの破壊が発生した場合も回復機能を備えていること				
		19 カルテに記載されたオーダー情報の修正は、カルテ画面から直接修正が可能なこと（必ず修正履歴が残ること）				
		20 診療諸記録（問診、所見、治療計画、他科依頼、その他）の情報を、カルテ画面に直接記載が可能なこと				
		21 診療諸記録（問診、所見、治療計画、他科依頼、その他）の情報は職制により、記載／参照の権限を設定できること				
		22 診療諸記録の履歴管理において、記載者だけでなく更新者も表示可能なこと。また表示名称を自由に設定可能なこと				
		23 カルテ情報と経過一覧表が同時に参照が可能なこと				
		24 一覧・マトリクスそれぞれについて、表示期間を設定できること。				
		25 データ量が多い患者については、職員がページ送りの回数を少なくするための表示方法が取られていること				
		26 薬歴情報を参照しながら、同時にオーダーの流用が可能なこと				
		27 各種オーダーの履歴から、今回オーダーの流用が可能なこと				
		28 過去オーダーやセットオーダーから今回オーダーへ流用する際、複数のオーダーを今回オーダーにまとめることが可能なこと				
		29 中止したオーダーの表示は他と比べて、容易に判別可能なこと				
		30 麻薬、特殊薬剤などの表示は他と比べて、容易に判別可能なこと				
		31 オーダー情報の更新有無が識別できるよう表示されること				
	2 診療記録	1 フリーでの診療記録は、直接カルテ画面から入力可能なこと				
		2 フリー記載の表題を簡単に変更可能なこと				
		3 診療記録は、以下の表示切り替えが即時に行えること ・自記録 ・全科				
		4 診療記録が更新されても、作成者と更新者が区別されること				
		5 診療記録は最終更新者の職制毎に表示色を変更可能なこと				
		6 診療記録に、診療区分の設定が可能なこと				
		7 問診／所見は定型的なプロセスをパターン化し選択入力が可能なこと				
		8 問診／所見は選択した文書の直接修正も可能なこと				
		9 診療記録は以下の登録が可能なこと ・家族歴 ・バイタル（身長、体重、脈拍、血圧、体温、呼吸数等、項目数は設定で変更可能なこと） ・既往歴（病名はICDより検索可能なこと）				
		10 バイタルは履歴管理が可能なこと				
		11 シエマを利用した所見も登録可能であること。またシエマに対するコメントは、診療科、部位単位の定型が利用可能なこと				
		12 シエマ上で描画した線や文字は、オブジェクトとして管理しシエマ内で自由に移動可能なこと				
		13 シエマの描画を効率的に行うために、スタンプを用いた描画が可能なこと				
		14 フリーで記載した診療記録欄へシエマを追記する事が可能なこと				
		15 重要な画像結果及び検査結果値については、所見を選択して貼り付けが可能なこと。画像については、ペンタブレットによる手書きも可能なこと				
		16 画像ファイルを選択し、診療記録に貼り付けが可能なこと				
		17 デジタルカメラ等で撮影された画像を、カルテ内の自由な位置へ貼り付けられること。				
		18 ペンタブレットを用いた描画ができること。				
		19 紹介状、手書き問診票は、スキャナーで読み込み、カルテに貼り付けが可能なこと				
		20 SOAP形式での入力が容易であること				
		21 診療記録は、クリップボード経由で任意の範囲を容易に流用が可能なこと				

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		22 検査結果画面から、診療記録に結果情報を転記が可能なこと				
		23 病名オーダー画面から診療記録に病名情報を転記が可能なこと				
		24 過去日を指定して診療記録が記載が可能なこと。但し、履歴として記載日を管理可能なこと				
		25 カルテ記載した内容を、患者のサマリーへ転記が可能なこと				
		26 画面を切り替えることなく、リッチテキスト入力状態に切り替えが可能なこと。また文字色・文字サイズ・フォントの種類が変更可能なこと				
		27 診療記録を簡便に入力できるツール画面があること。このツール画面はユーザーの任意で使用可能なこと				
		28 入力ツール画面では以下の内容を編集可能なこと ・日付変更 ・表題変更 ・記事区分 ・拡張入力切り替え ・簡易SOAP ・定型文				
		29 診療記録の内容更新有無が視認可能なこと				
		30 診療記録は、修正による版数が表示可能なこと				
		31 診療記録の修正による版数の履歴が確認可能なこと				
	3 フリーテンプレート	1 診療記録のテンプレート入力が可能なこと				
		2 診療記録のテンプレート入力後もフリー形式で診療記録の修正が可能なこと				
		3 1つの診療記録欄に複数のテンプレートの内容を登録・修正することが可能なこと				
		4 テンプレートは、以下の単位毎に管理可能なこと ・病院 ・診療科 ・職制 ・ユーザー				
		5 テンプレートは直観的な操作性により作成が容易であること				
		6 テンプレート使用時にフォーカス遷移先が日本語入力ができる場合、自動的に日本語入力に切り替わること				
		7 テンプレートを作成する場合、同時に複数の作成済みのテンプレートから流用可能なこと				
	4 ダイナミックテンプレート	1 ダイナミックテンプレート機能を標準実装していること				
		2 テンプレートを使用して、簡便に診療記事の作成が可能なこと				
		3 テンプレートは以下のカテゴリに分けて使用可能なこと ・病院 ・診療科 ・職種 ・個人 ・他科 ・他職種				
		4 テンプレートは他科や他職種の内容も使用可能なこと				
		5 テンプレートの検索が可能なこと。また複数キーワードでの検索が可能なこと				
		6 テンプレート登録画面では、診療記録の表題を指定して登録が可能なこと				
		7 テンプレート登録画面では、選択した項目に対して、診療記録への登録イメージが確認可能なこと				
		8 一度に連続して複数のテンプレートを登録可能なこと				
		9 テンプレートに点数がある内容では、選択した項目の点数を自動計算し、診療記録として登録可能なこと				
		10 登録したテンプレートの編集が可能なこと				
		11 カルテ画面を閉じずに、テンプレートマスターからテンプレートを追加登録が可能なこと				
		12 文書連携が可能なこと				
		13 項目ビッキングが可能なこと				
		14 シェア連携が可能なこと				
15 テンプレートの新規作成が可能なこと						
16 テンプレートの新規作成に必要な部品を取り揃えていること						
17 複数のテンプレートをセット化することが可能なこと						
18 テンプレートのセット名称、表示名称、出力名称は、任意に登録可能なこと						
19 テンプレートは以下の操作が可能なこと ・複製作成 ・編集 ・参照 ・削除						
20 テンプレートマスターに登録されているテンプレートのエクスポートが可能なこと						
21 テンプレートマスターのインポートが可能なこと						
22 ダイナミックテンプレートを使った記事作成時に、汎用オーダーが登録できること						
23 テンプレートデータファイルを施設間で使用可能なこと						
24 ダイナミックテンプレートにてカルテ記載日の患者年齢を取得でき記載できること						

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
	5 ランドマーク機能	1 診療記録の任意の範囲を置石（ランドマーク）として登録可能なこと				
		2 登録する置石（ランドマーク）に、区分を設定可能なこと				
		3 置石（ランドマーク）が登録されている診療記録の表題に、登録の示す記号が表示されること				
		4 登録されている置石（ランドマーク）の修正・削除が可能なこと				
		5 過去日の診療記録に対しても、置石（ランドマーク）の登録が可能なこと				
		6 諸記録画面にて、登録されている置石（ランドマーク）をロールオーバー形式で参照可能なこと。また文字列検索も可能なこと				
	6 セット機能	1 各種オーダーを混在してセット作成が可能なこと				
		2 患者に指示したオーダー情報を、そのままセットに登録が可能なこと				
		3 患者に指示した所見、治療計画等の文書情報を、そのままセット登録が可能なこと				
		4 セットの流用時には、複数日に展開して流用が可能なこと				
		5 病名単位のセット作成が可能なこと				
		6 病名セット流用時は病名が登録可能なこと				
		7 病名のみでセット展開が可能なこと				
		8 診療記録のセット作成が可能なこと				
		9 セットの作成単位は、豊橋市こども発達センター単位、診療科単位、医師単位、看護師単位、患者単位に作成可能なこと				
		10 カルテ画面起動時に、自動でセット情報を起動可能なこと				
	7 カルテ開示	1 診療情報として入力された情報が時系列、課別の分類で表示可能なこと				
		2 診療情報は入力者、入力時間などが認識可能なこと				
		3 病名など、開示上好ましくない情報は一部非表示が可能なこと。または病名については、マスク登録により代替病名にて表示が可能なこと				
		4 登録された情報の入力後、変更可能な時間の設定が可能なこと				
		5 診療情報の改訂は、改訂箇所がその前後で認識ができ、改訂者、改訂時間が確認可能なこと				
	8 紹介状作成	1 以下の情報を入力し、紹介状を作成可能なこと。またオーダーリングシステム等で、入力済みの項目に関しては自動的に入力されること				
		1-1 ・一般 ・患者属性（患者氏名 ・性別 ・生年月日 ・年齢 ・職業）				
		1-2 ・紹介元情報（紹介日、医師名、豊橋市こども発達センター名、電話番号、登録医番号）				
		1-3 ・紹介先情報（医師名、豊橋市こども発達センター名、電話番号、登録医番号）				
		1-4 ・紹介理由（検査、その他患者に関する留意事項）				
		1-5 ・診療要約（主訴、既往歴、現病歴）				
		2 患者情報の一部を取り込み自動入力ができること。対象項目については、ワーキング等で別途協議とする。				
	2 児童精神	1 児童精神オーダー	1 児童精神の専用のオーダー入力画面があること。			
			2 オーダー入力時、処方開始日・終了日がカレンダー形式より選択でき入力できること。			
3 新規/継続の伝票種別を指定できること。						
4 診断情報は、患者病名又は病名マスタより選択し入力できること。						
5 現在症・問題点や今後の方針など、一覧から選択し入力できること。						
6 一覧から「その他」を選択した場合、フリー入力可能とし、テキスト入力することが可能なこと。						
7 特記事項はフリーテキスト入力が行えること。						
8 オーダー修正・削除が可能なこと。						
2 児童精神部門		1 児童精神簡易部門システムがあること。				
3 処方箋一覧		1 児童精神オーダーの処方箋一覧が表示可能なこと。				
		2 患者ID・主治医・作業療法士・処方日で絞り込み表示が可能なこと。				
		3 処方箋に対し、治療計画入力可能なこと。				
		4 治療計画では、患者情報や処方箋内容の確認、処方箋の受領日、プログラムなどを計画することが可能なこと。				
4 プログラム作成		1 曜日毎、午前/午後毎に実施する活動プログラムが登録できること。				
		2 登録した活動プログラムごとに担当者登録ができること。				
		3 各プログラム毎に作業時間/場所/区分が登録できること。				
		4 活動プログラムを容易に修正・削除可能なこと。				
		5 各プログラムに対し、出席患者が登録できること。				
		6 出席した患者に対し、個人記録が可能なこと。				
		7 個人記録では、フリー記載やコメント候補などに記録ができる仕組みとなっていること。				
		8 個人記録を印刷する機能を有すること。				
		9 患者の経過報告に評価入力が行えること。				
		10 評価入力では、選択肢方式での入力が行えること。				
		11 過去の評価入力の修正が行えること。また、過去履歴を修正している場合は、「過去修正中」などの文言を表示させ分かりやすくなっていること。				
		12 終了日の登録ができること。				
		13 グループ単位で記録、保存ができること				

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
	5 印刷	1 実施記録について、月単位で印字できること。			
		2 業務日誌の印刷が行えること。			
		3 業務日誌のコメント登録が行え、日誌に印字可能なこと。			
	6 マスタメンテナンス	1 グループ管理の修正/新規登録のメンテナンスが行えること。また、設定したグループ名称や場所、活動時間など新規/変更が可能なこと。			
		2 各グループのプログラム区分の新規/変更が可能なこと。			
3 担当者登録のメンテナンスが行えること。					
4 場所管理のメンテナンスが行えること。					
5 時間管理のメンテナンスが行えること。					
3 その他	1 その他	1 雑記類を付箋紙として登録可能なこと。付箋紙は以下の機能を有していること ・職種を問わずに登録・参照が可能なこと ・患者ごとに登録・参照が可能なこと ・フォントが変更可能なこと ・背景色の変更可能なこと			
		2 複数日のカルテを同時参照可能なこと			
		3 フォントや画面サイズは変更可能なこと			
		4 フォントや画面サイズは以下のように管理可能なこと ・ユーザー単位で設定可能なこと ・ユーザーがログイン時に操作者が設定したフォント・画面サイズが適用されること			
		5 カルテの操作情報は操作ログ情報として詳細なログ取得が可能なこと			
		6 操作ログ情報について、以下の機能を有していること ・暗号化 ・指定フォルダでの管理			
		7 重要日等の特定日付に対してコメントを付加しマーキングが可能なこと			
		8 マーキングされた日付をカルテ画面や各種一覧画面で把握が可能なこと			
		9 マーキングの追加・削除した履歴が管理が可能なこと			
		10 患者カルテに常時閲覧可能な付箋紙の入力が可能なこと			
		11 付箋紙毎に参照権限・更新権限を設定可能なこと			
		12 過去の付箋紙を記録（ログ）可能なこと			
		13 付箋紙毎に以下のデザイン設定が可能なこと ・フォント変更 ・背景色変更			
		14 付箋紙毎に表示期限の設定が可能なこと			
		15 付箋紙に以下の項目が表示可能なこと ・登録者 ・登録日時			
		16 付箋紙はワンクリックで表示・非表示の切り替えが可能なこと			
		17 特定の患者のカルテを、予め許可設定された職員のみが操作・参照可能な制限可能な機能を有すること			
		18 ジェノグラムの管理が可能なこと			
		19 ジェノグラム編集画面では以下の機能を有していること ・描画ツールがあること ・セット登録機能があること ・更新履歴管理が可能なこと			
		20 生活歴・病歴管理は以下の情報を管理可能なこと ・患者イベント（生育・教育歴、職歴、入・通院歴） ・病歴（既往歴含） ・各イベントに対するフリー入力（公的文書へ反映可能なこと）			
		21 登録されたフリー入力文書は、公的文書にも反映が可能なこと			
		22 入力されたイベント・病歴は、電子カルテで登録された入・通院歴、病歴（病名）も合わせて一覧、年表表示が可能なこと			
		23 入力情報確定時に、入力していた内容はクリアされずに表示されていること			
		24 親子・配偶者などの家族間における患者IDの関連付けが可能なこと			
		25 カルテ画面から関連IDの有無が容易に把握可能なこと			
		26 カルテ画面から関連付けされたIDが把握可能なこと			
		27 カルテ画面から関連付けされたIDのカルテが起動可能なこと			
		28 カルテ1号紙(様式1号)の記載項目である「労務不能に関する意見欄」を登録可能なこと			
		29 診断文書は、利用者にて作成が可能なこと。			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
1 患者基本オーダー	1 患者基本オーダー	1 医事システムで保有する患者の基本属性情報（患者ID、患者氏名、カナ氏名、性別、生年月日、保険情報、保険有効期限、住所情報、電話番号を最低限の表示項目とする）を表示すること			
		2 カルテを開かず、患者基本情報画面を開くことが可能なこと			
		3 患者基本情報編集画面を、カルテ画面から独立して別ウィンドウで表示可能なこと			
		4 別ウィンドウを表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		5 基本情報、障害情報、感染情報、薬剤禁忌情報、一般アレルギー、職種コメント、家族歴情報等を登録する機能を有すること			
		6 各項目はインデックス表示され、該当項目を選択することにより編集画面の切り替えが可能なこと			
		7 編集画面を切り替えることなく、未登録の項目が把握可能なこと			
		8 身長や体重など、前回計測時から変更がない場合、その旨を登録可能なこと			
		9 精神科用患者基本情報として、保護者/同意者（複数）、緊急連絡先（複数）、関係機関（複数）、紹介者/紹介機関（複数）、その他患者情報、フリーコメント等が登録可能なこと。登録した内容は、公的文书へ展開可能なこと			
		10 機密保護のため参照可能な機能、登録可能な機能を職制に応じて制限可能な機能を有すること			
		11 患者基本画面では、以下の内容を表示および入力、修正が可能なこと			
		11-1 ・感染症と検査日			
		11-2 ・禁忌(薬剤、食物)			
		11-3 ・身長、体重（推移が表示されること）			
		11-4 ・入力された身長、体重から体表面積、標準体重、BMIが自動計算されること			
		11-5 ・紹介患者であることがカルテ画面にて認識可能なこと			
		11-6 ・職種ごとのコメントが入力可能なこと			
		11-7 ・患者固有の情報について複数設定が可能なこと。また、設定した内容がカルテ画面にて認識可能なこと			
		12 患者確認チェック機能を有していること			
		13 患者確認チェック項目は、豊橋市こども発達センターごとで自由に作成可能なこと			
14 患者確認チェック項目は、最大99項目作成可能なこと					
15 各種ワクチンおよび接種日の登録が可能なこと					
16 患者基本情報の項目ごとに更新履歴を参照可能なこと					
2 外来基本オーダー	1 外来基本オーダー	1 医師（診察室）別予約および予約外患者一覧を識別表示可能なこと			
		2 患者の呼び出し状況を未来院、診察待ち、診察終了、診察一時終了別に識別表示可能なこと			
		3 予約外患者を予約患者一覧へ、容易な操作で割込み入力可能なこと			
		4 以下の内容を表示可能なこと ・予約時間 ・当日画像 ・生理検査進捗情報 ・受付番号 ・受付時刻 ・患者氏名、年齢、性別 ・コメント ・患者フリーコメント ・患者サマリ情報の有無 ・患者ID ・併科受診情報 ・外来患者呼び出し状況 ・紹介情報 ・名オーダー進捗情報			
		5 予約患者と予約外患者を同一画面に表示することが、操作者の指示で可能なこと			
		6 患者IDおよび50音検索が可能なこと			
		7 同姓同名の患者は、識別表示可能なこと			
		8 患者選択によりオーダー画面に展開可能なこと。患者が入室しない場合は、診察中断が可能なこと			
		9 診察終了患者は、非表示と可能なこと。また、必要に応じて再表示可能なこと			
		10 診察終了ごとに最新表示可能なこと			
		11 代行入力機能（医師以外がオーダーを入力可能とすること。ただし、利用者認証を確定できる機能）を有すること			
		12 担当医師への連絡のために、診療予約時に定型コメント、フリーコメント入力可能なこと			
		13 診療予約区分の表示が可能なこと			
		14 代行入力した場合は、未承認として登録され、未承認の患者を表示可能なこと。医師が承認処理を行うことにより承認となる機能を有すること			
		15 外来患者一覧の表示項目は個人ごと並び順を変更可能なこと			
		16 患者一覧画面から患者フリーコメントを編集可能なこと			
		17 誤って受付した場合でも患者一覧から削除可能なこと			
3 処方オーダー	1 処方オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
		4 薬剤の入力方法はフォルダーを利用した頻用薬剤から選択する方法と、カナ・アルファベット等の検索入力方法をとること。薬剤の検索は文字検索を基本とすること			
		5 薬剤検索時、リアルタイムで入力文字から候補薬剤を表示すること。医師が多く使用する薬剤は文字サイズを大きく表示するなど、誤った薬を選択させないための工夫がされていること			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		6 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは自動表示可能なこと ・薬剤 ・用量 ・用法（内服、外用、頓服、回数、時間、粉砕、混合等） ・投与日数 ・一包化表示 ・後発品への変更指示 ・薬剤の一般名によるオーダーが可能なこと ・採用期限が切れた薬剤を含むオーダーの流用時に、現在採用されている薬剤への変更が簡易に行えること			
		7 一般名で登録されている薬剤を含む約束処方オーダーする際、一般名もしくは商品名のどちらで登録をするか選択可能なこと。有効期限切れの薬剤が含まれる場合はメッセージを表示し再登録を促すことが可能なこと			
		8 薬効から薬剤の検索が可能なこと			
		9 ログイン者ごとの頻用薬一覧が表示されること。表示される薬剤の使用量を必要に応じて変更可能なこと			
		10 薬剤指定によるDIを表示可能なこと			
		11 過去の指示内容流用時は、オーダーの履歴ウインドウから今回診療オーダーウインドウへ直接、Do入力が可能なこと			
		12 セット入力はセットウインドウから、ドラッグ&ドロップで簡単に可能なこと			
		13 複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと			
		14 必要に応じて処方箋選択コメント、処方箋コメント（処方箋に付加するコメント）、薬剤コメント（薬剤単位に付加するコメント）、用法コメント（用法に付加するコメント）がRPCごとに登録可能なこと			
		15 投与日数は、期間指定を指定してオーダー可能なこと			
		16 投与日数は予約オーダーと連動し、次回診察予約までの日数で自動登録可能なこと			
		17 投与日数を期間指定および、次回診察予約日までの期間で登録した場合、コメントに投与期間を表示すること			
		18 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと			
		19 以下のチェック機能を有すること			
		19-1 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック			
		19-2 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック			
		19-3 ・患者アレルギーチェック			
		19-4 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック			
		19-5 ・他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること			
		19-6 ・劇薬、麻薬、特殊薬剤警告チェック			
		19-7 ・注射薬剤との禁忌チェック			
		19-8 ・他の端末で入力中の注射データもチェック対象とすること			
		19-9 ・院外不可薬剤チェック、採用薬期限切れチェック			
		19-10 ・分割チェック、成分重複チェック、年齢別投与制限チェック			
		19-11 ・禁忌病名チェック、適応病名チェック			
		20 警告に対して、コメント付加等の一定の条件によるオーダーが可能なこと。強制入力によるオーダーはコメント、または識別表示が可能なこと			
		21 オーダー修正時、修正前と修正後の内容を同一画面で確認可能なこと。また、修正前と修正後の項目は文字色が変わり一目で把握可能なこと			
		22 患者ごとに院内/院外区分の既定値を設定可能なこと			
		23 院外処方オーダーに伴う院外処方箋を出力可能なこと			
		24 麻薬処方箋を出力可能なこと			
		25 適用保険の保険者番号等を院外処方箋に印字可能なこと			
		26 処方履歴として以下の内容の表示が可能なこと ・日付、時間（オーダー日） ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー種別 ・オーダー進捗状況（実施、未実施） ・全科/自科の切替表示が可能なこと ・処方日指定で、処方内容の表示が可能なこと			
		27 DI情報を、マスターに取り込めること			
		28 麻薬、劇薬は識別表示可能なこと			
		29 錠剤一包化、散薬一包化の指示（ボタン）、不均等投与機能を有すること			
		30 医師への督促コメント機能を有すること			
		31 薬剤部門でも、医師と同じ画面で照会可能なこと			
		32 処方箋の出力（再発行）、プリンター等の不具合時の対応として再発行が可能であること			
		33 処方箋に患者基本情報のほか、処方医、診療科名等が出力可能なこと			
		34 薬剤選択時、薬剤部門からの注意コメントが表示可能なこと			
		35 医師ごとの使用頻度に応じて頻用薬リストが自動的に作成され、そのリストからオーダーが容易に可能なこと			
		36 一度のオーダーで麻薬処方と通常の処方が行えること			
		37 適応病名、禁忌病名との薬剤チェックが可能なこと			
		38 適応病名チェックは処方オーダー登録時、処方オーダー流用時にチェックがかかること			
		39 適応病名チェックがかかった処方薬剤に対し適応病名の一覧を表示し、一覧より病名の登録まで行えること			
		40 適応病名チェックに複数の薬剤がかかった場合でも、薬剤ごとに適応病名の登録が行えること			
		41 適応病名一覧画面では、適応病名を登録する必要がある薬剤数が、常に表示されていること			
		42 適応病名の一覧では、病名の漢字名称もしくはカナ名称、キーワードの部分一致もしくは前方一致で病名の絞り込みが可能なこと			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考		
		43 登録する病名を、主病名として登録可能なこと					
		44 登録する病名に疑いサインの付加が可能なこと					
		45 体重、対表面積、年齢別薬剤規定値計算が可能なこと					
		46 会計終了後の追加処方にも対応することが可能なこと					
		47 追加の場合、追加分のみ出力が可能なこと					
		48 オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者が最終更新者を設定により変更可能なこと					
		49 オーダーを中止、削除、修正をした場合、元のオーダーに取消し線が引かれること					
		50 カルテツリー上から任意で指定した複数の薬剤を一括削除可能なこと					
		51 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること					
		52 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の処方オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと					
		53 特定の科、医師のみオーダー入力可能な薬剤を設定可能なこと。ただし任意に対象患者を登録することで、チェック対象外とすることが可能なこと					
		54 麻薬がオーダーされた場合に患者パネルに○麻マークを赤文字で表示可能なこと					
		55 RPごとに服用開始日、服用（投与）間隔を指定可能なこと					
		56 用法の開始時間と服用開始時間に差異がある場合、エラーもしくは警告メッセージを表示すること					
		57 投与間隔日数もしくは曜日指定してオーダー可能なこと					
		58 投与間隔日数もしくは曜日を指定した際、投与日数を自動計算可能なこと					
		59 オーダーを流用する際、間隔投与日数、曜日を引継ぐことが可能なこと					
		60 分割調剤が可能であること					
		61 処方オーダー時に特定薬剤と連動し文書作成が可能なこと					
		62 処方オーダーの薬剤選択時、既定値の薬剤コメントが選択されること					
		63 リフィル処方指示が可能なこと					
		64 同一用法のRPを集約可能なこと					
		4 検体検査オーダー	1 検体検査オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
				2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
				3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
				4 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは、他のシステムで入力済みの項目については、選択入力または自動表示可能なこと ・検査種別検査項目（一般、生化、血液、血清、細菌、遺伝子検査（PCR等の検体系）など） ・検査日時および、同一日の同一項目の時間指定 ・定型コメントおよびフリーコメント			
				5 入力は、検査伝票イメージで項目選択形式で行えること			
				6 緊急および至急検査が、識別表示可能なこと			
				7 曜日指定検査を入力可能なこと			
				8 外注検査、保険外検査も同様にオーダー可能なこと。保険外検査については、識別が可能なこと			
				9 外注検査で出力された電子データを取り込むことが可能なこと			
				10 セット入力はセットウィンドウから、ドラッグ＆ドロップで簡単に可能なこと			
				11 複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと			
				12 検体検査セットを複数登録した後、一つのセットを削除した場合、重複している検査項目は削除せず残せること			
		13 検体検査オーダーで作成したセットは、カルテ画面でセット名称が識別可能なこと					
		14 入力したオーダーを複数の日付にコピーする機能を有すること					
		15 オーダー入力項目を検査種別ごとに一覧表示でき、オーダー内容の確認が可能なこと					
		16 必要に応じて検体ごとにコメントが入力可能なこと。また、検査部門からのコメント情報を表示可能なこと					
		17 検体検査オーダーでは以下のチェック機能を有すること					
		17-1 ・検査項目の重複チェック					
		17-2 ・他の端末から入力中の検査データもチェックの対象とすること					
		17-3 ・検査指示日の休診日チェック					
		17-4 ・検体変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック					
		18 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと					
		19 部門でオーダーの進捗状況カレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関する詳細情報が表示可能なこと					
		20 外来診察室または処置室採液の検体ラベル、検査指示書は指定部署で出力可能なこと					
		21 日付未定のオーダーが可能であること					
		22 曜日別、時間別に採取時間の規定値管理が可能なこと					
		23 項目が分からない場合、検索し入力可能なこと					
		24 オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者が最終更新者を設定により変更可能なこと					
		25 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること					
		26 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		27 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の検体検査オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと			
		28 数ヶ月に1回のみ算定可能な検査項目の期間が重複していないかをオーダー時にチェック可能なこと			
		29 一般検査項目のキーワード検索が可能なこと			
		30 検査項目の組合せチェックが可能であること			
		31 カルテ起動時に特定検査項目の経過日数を通知できること			
5 生理オーダー	1 生理オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
		4 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・検査種別 ・検査項目 ・検査薬剤 ・検査目的 ・病名 ・検査日時 ・定型コメントおよびフリーコメント 			
		5 当日緊急オーダー指定が可能なこと			
		6 診療科別、初診時等のセット選択入力可能なこと			
		7 予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力可能なこと			
		8 予約時間が重複した場合は、警告表示が可能なこと			
		9 予約入力時に既予約情報を同一画面で表示可能なこと			
		10 予約入力時に、診療予約も同時に取得可能なこと			
		11 複数の検査項目の予約を、一画面で取得可能なこと			
		12 患者別の検査指示書を、必要に応じて出力可能なこと			
		13 患者受付は以下の方法で可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・診察券 ・患者ID入力 ・予約患者一覧選択 			
		14 検査予定表が出力可能なこと			
		15 オーダー内容を元に、以下の内容を入力が可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・オーダー指定日時、検査種別ごとに実施入力可能なこと ・使用薬剤、診療材料の入力が可能なこと ・実施内容は医事会計システムへ送信が可能なこと ・受付により、即実施と可能な検査項目を設定が可能なこと 			
		16 生理検査履歴表示として以下の内容の表示が可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・日付（オーダー日） ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー進捗状況（未実施、受付済み、実施済み、中止等） 			
		17 薬剤が必要な検査は、薬剤のセット登録が可能なこと			
		18 生理検査オーダーの実施入力およびコメントを付加することが可能なこと			
		19 心電図・脳波・聴力検査等の生理検査オーダー入力ができること。			
		20 項目単位に文書作成と連動して必要な文書の作成が可能なこと			
		21 オーダーツールに表示する名前は、オーダー登録者が最終更新者を設定により変更可能なこと			
		22 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること			
		23 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とする			
		24 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の生理オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと			
		25 画像生理依頼票に、患者チェック項目のチェック内容について印字されること			
6 心理検査オーダー	1 心理検査オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
		4 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示可能なこと <ul style="list-style-type: none"> ・検査種別 ・検査項目 ・検査薬剤 ・検査目的 ・病名 ・検査日時 ・定型コメントおよびフリーコメント 			
		5 当日緊急オーダー指定が可能なこと			
		6 診療科別、初診時等のセット選択入力可能なこと			
		7 予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力可能なこと			
		8 予約時間が重複した場合は、警告表示が可能なこと			
		9 予約入力時に既予約情報を同一画面で表示可能なこと			
		10 予約入力時に、診療予約も同時に取得可能なこと			
		11 複数の検査項目の予約を、一画面で取得可能なこと			
		12 患者別の検査指示書を、必要に応じて出力可能なこと			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考		
		13 患者受付は以下の方法で可能なこと ・診察券 ・患者ID入力 ・予約患者一覧選択					
		14 検査予定表が出力可能なこと					
		15 オーダー内容を元に、以下の内容を入力が可能なこと ・オーダー指定日時、検査種別ごとに実施入力可能なこと ・使用薬剤、診療材料の入力が可能なこと ・実施内容は医事会計システムへ送信が可能なこと ・受付により、即実施と可能な検査項目を設定が可能なこと					
		16 心理検査履歴表示として以下の内容の表示が可能なこと ・日付（オーダー日） ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー進捗状況（未実施、受付済み、実施済み、中止等）					
		17 薬剤が必要な検査は、薬剤のセット登録が可能なこと					
		18 心理検査オーダーの実施入力およびコメントを付加することが可能なこと					
		19 項目単位に文書作成と連動して必要な文書の作成が可能なこと					
		20 オーダーツールに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと					
		21 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること					
		22 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること					
		23 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の心理検査オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと					
		24 心理検査依頼票に、患者チェック項目のチェック内容について印字されること					
		7 画像オーダー	1 基本機能	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
				2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと					
		4 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示可能なこと ・検査種別による検査項目 ・撮影種別ごとの部位 ・手技 ・撮影方向 ・検査目的 ・検査薬剤の入力 ・病名 ・検査日時 ・至急現像の指示 ・定型コメントおよびフリーコメント					
		5 撮影項目ごとに、病名、検査目的、定型コメントおよびフリーコメントを必須入力とするか否かを、設定により変更可能なこと					
		6 検査薬剤と、個人禁忌薬剤との禁忌チェックが可能なこと					
		7 当日緊急オーダー指定が可能なこと					
		8 診療科別、初診時等のセット選択入力可能なこと					
		9 予約が必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力可能なこと					
		10 予約時間が重複した場合は、警告表示可能なこと					
		11 予約入力時に既予約情報を同一画面で表示可能なこと					
		12 予約入力時に、診療予約も同時に取得可能なこと					
		13 オーダー時、患者確認チェック項目が患者基本と連動し、医療過誤防止を支援する機能を有していること					
		14 患者確認チェック項目で一つでも未確認も内容がある場合、警告もしくはエラーが表示されること					
		15 体内金属のチェック以外にも、患者の同意書の有無もチェック対象であること					
		16 複数の検査項目の予約を、一画面で取得可能なこと					
		17 患者別の検査指示書を必要に応じて出力可能なこと					
		18 画像検査履歴表示として以下の内容の表示が可能なこと ・日付（オーダー日） ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー進捗状況（未実施、受付済み、実施済み、中止等）					
		19 診療科別、初診時等の登録が可能なこと。薬剤が必要な検査は、薬剤のセット登録も可能なこと					
		20 オーダーにてシエマを使用した依頼が可能なこと					
		21 項目単位に文書作成と連動して必要な文書の作成が可能なこと					
		22 オーダーツールに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと					
		23 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること					
		24 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること					
		25 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の画像検査オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと					
		26 画像生理依頼票に、患者チェック項目のチェック内容について印字されること					
		27 患者薬剤アレルギー情報と薬剤禁忌チェックが可能なこと					
		28 画像オーダー登録時に撮影項目の組合せチェックが可能であること					
		29 カルテ起動時に特定撮影項目の経過日数を通知できること					
		30 CD-Rなどが取り込めて見れること					
8 予約オーダー	1 予約オーダー	1 オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること					
		2 患者の診療予約や検査予約を登録し、予約票が発行可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考		
		3 基本スケジュール、月例スケジュールを作成可能なこと					
		4 基本スケジュール作成時、時間ごとの規定値ポイントを設定可能なこと					
		5 患者に登録された診療予約および検査予約の取得状況を、サマリー形式で表示すること					
		6 登録済み予約日付枠の選択により、予約の修正や削除が行えること					
		7 予約を登録したユーザーや削除したユーザー日時などの履歴の参照が可能なこと					
		8 予約入力の履歴表示が可能なこと					
		9 複数の予約スケジュールを表示し、予約の空き状況が確認可能なこと					
		10 操作者の任意で、最大15項目の予約スケジュールを一画面で表示し、予約の空き状況が確認可能なこと					
		11 予約の空き状況は、数字表示、マーク表示が設定で選択可能なこと					
		12 複数の予約スケジュールを表示し、一度に予約を取得可能なこと					
		13 予約スケジュールカレンダーの日付枠を選択することで、その日付に予約を登録可能なこと					
		14 予約スケジュールカレンダーは、当日を基準とし○週間後、○ヶ月後とページ送りやワンクリックで行え、該当日に色が付き一目で把握可能なこと					
		15 取得済みの予約時間、予約区分および行為区分が変更可能なこと					
		16 予約修正の際、既存で予約を取得している日付に色が付き、何時の予約を変更するか確認が容易なこと					
		17 予約の依頼医師、準備品、コメントの登録が可能なこと					
		18 行為区分をあらかじめ設定することにより、患者ごとに予約ポイント数を指定し、登録可能なこと					
		19 基本スケジュール照会は、以下の機能を有すること ・予約の枠単位にスケジュールを作成すること ・曜日選択により詳細スケジュールの編集が可能なこと ・曜日ごとに時間枠と1日枠の予約ポイント数を設定し、登録可能なこと ・必要に応じて、診療料限定の情報が登録可能なこと					
		20 予め連動予約項目設定しておくことにより、複数の予約を同時取得可能なこと					
		21 予約は1年以上先まで予約可能なこと					
		22 他の予約項目と連動取得が可能なこと					
		23 予約時間単位で、外来の登録制限をかけることが可能なこと					
		24 予約項目単位で、診療料の取得制限をかけることが可能なこと					
		25 予約項目単位に、1日の予約取得可能な最大人数の指定が可能なこと。1日内の強制入力数に制限がかけられること					
		26 予約画面は、カレンダー形式と一覧形式を設定により切替えが可能なこと					
		27 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とする					
		28 予約取得業務を円滑に行うために、予約項目の並び順、表示/非表示をマスターで設定可能なこと					
		29 予約情報の操作履歴を簡易的に参照可能なこと					
		30 時間未定の予約を登録可能なこと					
		31 予約スケジュールを自動展開可能なこと					
		9 注射オーダー	1 基本機能	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
				2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと					
		4 薬剤検索等の方法を利用して注射に関する情報を登録し、注射箋を発行すること					
		5 当日の注射オーダーを一覧形式にて表示でき、そこからクリックで実施可能なこと					
		6 情報の入力は「用法選択→薬剤入力」、「薬剤入力→用法選択」のいずれかを導入時に設定可能なこと					
		7 薬剤の入力方法はフォルダーを利用して頻用薬剤から選択する方法と、カナ、アルファベット検索入力方法等の2種類以上が可能なこと					
		8 薬剤検索時、リアルタイムで入力文字から候補薬剤を表示すること。医師が多く利用している薬剤を、文字サイズを大きく表示するなど、誤った薬を選択させないための工夫がされていること					
		9 薬効検索が可能なこと					
		10 麻薬は識別表示可能なこと					
		11 用量は複数単位で選択入力可能なこと					
		12 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは自動表示可能なこと ・薬剤 ・用量 ・用法（手技、速度/時間、投与経路、実施時間/回数） ・投与期間 ・コメント（定型・フリー） ・投与期間の入力は「朝」「昼」「夜」などの指定が可能なこと ・投与期間の入力は部署、科ごとの時間セット指定が可能なこと ・ルート区分 ・採用期限が切れた薬剤を含む指示内容の流用時、現在採用されている薬剤への変更が容易に可能なこと					
		13 薬剤のDIを確認可能なこと					
		14 診療科別、疾患別セットの選択入力が容易に可能なこと					
		15 既オーダーを参照し、全部または一部を流用（Do処理）してオーダーが可能なこと					
		16 診療科別、疾患別セットの登録が作成可能なこと。セットの作成、修正は容易にユーザー側で行えること					
		17 必要に応じて以下のコメントが入力可能なこと ・ルートに付加するコメントとして、ルートコメント、手技コメント ・薬剤および用量に付加するコメントとして、薬剤・使用量コメント ・RP単位に付加するコメントとして、RPコメント ・注射オーダー全体のコメント					
		18 実施期間の入力は連続指定（開始と終了の日付入力）、日付指定（6回分）が可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		19 注射薬剤を入力した際、その注射薬剤に適用した病名を一覧表示し、その一覧から病名登録可能なこと			
		20 入力時のチェック機能として以下を有すること			
		20-1 薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック			
		20-2 手技と注射薬の適合チェック			
		20-3 患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック			
		20-4 他注射オーダーとの重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック、混合チェック			
		20-5 他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること			
		20-6 採用薬期限切れチェック			
		20-7 麻薬・特殊薬剤警告			
		20-8 処方薬剤との禁忌チェック			
		20-9 他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること			
		20-10 分割チェック、成分重複チェック、年齢別投与制限チェック			
		20-11 禁忌病名チェック、適応病名チェック			
		20-12 指示により前後のカレンダーが表示可能なこと			
		20-13 日付を選択することにより、該当する日に指示された全ての患者のオーダーの詳細情報が表示可能なこと			
		20-14 表示されたオーダーについて、注射箋の発行、再発行が行えること			
		20-15 表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること			
		20-16 カレンダー上でのクリックやマウスドラッグにより、オーダーの流用が簡易に行えること			
		20-17 任意の日付を選択し、同日に投与するオーダー内容が時間順に把握可能なこと			
		21 注射カレンダーはカルテ画面から直接起動可能なこと			
		22 部門照会機能として、オーダーの進捗状況を一覧形式で表示し、以下の機能を有すること ・患者照会指示にて、患者の詳細ウィンドウを表示すること			
		23 オーダー修正時、修正前と修正後の内容を同一画面で確認可能なこと。修正前と修正後の項目は文字色が変わり目で把握可能なこと			
		24 注射履歴として、以下の内容の表示が可能なこと ・日付（オーダー日） ・診療科 ・全科 ・自料の切替表示が可能なこと ・注射日指定で注射内容の表示が可能なこと			
		25 RPや回数別の実施入力を管理可能なこと			
		26 注射オーダー入力時に、用法に応じた投与実施時間の規定値管理が可能なこと			
		27 注射オーダーの新規、修正、実施、中止の各タイミングで、指示書発行の有無を個別に設定可能なこと			
		28 オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと			
		29 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること			
		30 オーダー登録時に注射薬と連動した文書を登録可能なこと。			
		2 注射オーダー	1 禁忌病名との薬剤チェックが可能なこと		
2 登録する病名を、主病名として登録可能なこと					
3 登録する病名に疑いサインを付加可能なこと					
4 体重、対表面積、年齢別薬剤規定値計算が可能なこと					
5 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること					
6 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の注射オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと					
7 別々に登録されたオーダー内容についても、注射箋がまとめて印字可能であること ※即発行の場合はオーダー単位で出力					
10 リハビリオーダー	1 リハビリオーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
		4 疾患分類ごとにリハビリ指示内容を、起算日とするか、治療開始日とするか設定可能なこと			
		5 以下の内容を入力可能なこと ・診断病名（登録されている患者病名からの選択またはフリー入力可能なこと） ・障害名（複数選択可能なこと） ・治療目標（主となるもの、副となるもの） ・疾患分類（脳血管疾患、運動器、呼吸器など） ・診療報酬区分（理学、作業、言語および単位数） ・訓練場所 ・加算の有無 ・リハビリの内容 ・起算日 ・各種コメント（定型句からの選択またはフリー入力可能なこと）			
		6 診断病名の入力チェックがかかること			
		7 他科が登録したリハビリオーダーを修正可能なこと。ただし病院の運用により編集不可とする事も可能なこと			
		8 依頼内容が反映されたリハビリ依頼箋が出力可能なこと			
		9 オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと			
		10 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること			
		11 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること			
		12 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中のリハビリオーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
11 処置（汎用）オーダー	1 処置（汎用）オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 適用保険選択によるオーダーが可能なこと			
		4 以下の内容が入力可能なこと ・処置項目 ・処置実施日および期間 ・処置部位 ・処置薬、診療材料 ・定型コメントおよびフリーコメント			
		5 処置薬剤の、個人禁忌薬との禁忌チェックが可能なこと			
		6 処置薬剤、処置材料の検索機能を有していること			
		7 処置内容がカレンダー形式で表示可能なこと			
		8 カレンダー画面及び患者カルテ画面から指示の実施、中止、修正等の実施入力可能なこと			
		9 カレンダー画面は、カルテ画面から直接起動が可能なこと			
		10 カレンダーを参照しながら処置入力可能なこと			
		11 登録済みのオーダーを参照し、流用（Do処理）して処置オーダーが可能なこと			
		12 科別、疾患別処置セットの選択入力容易に可能なこと			
		13 処置項目により、即実施（オーダー登録時に実施とする）と予定実施（オーダー登録時は未実施とし、処理を実施後に実施入力）に分けて管理可能なこと			
		14 処置日付は既定値で当日に設定可能なこと。処置日付は期間の指定、過去日から未来日の期間指定も可能なこと			
		15 オーダーとの付加情報として患者情報に加えて以下の項目を送信可能なこと ・診察科 ・指示医師			
		16 予定実施となる処置項目については、オーダー内容をもとに実施入力可能なこと			
		17 オーダー単位ごとに実施入力可能なこと			
		18 使用薬剤、診察材料の規定値で設定可能なこと。実施入力時にはこれらの使用量を変更可能なこと			
		19 実施入力は処置歴に反映可能なこと			
		20 実施内容は医事会計システムへ送信されること			
		21 診療科別、疾患別セットの登録が作成可能なこと。セットの作成、修正は容易に豊橋市こども発達センター側で行えること			
		22 オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者が最終更新者を設定により変更可能なこと			
		23 オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること			
		24 カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とする			
		25 他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の処置オーダーの内容がリアルタイムに参照可能なこと			
		26 過去の処置オーダーを流用する際、登録可能な最大日数を豊橋市こども発達センターの運用にあわせ、設定で変更可能なこと			
		27 汎用項目のキーワード検索が可能であること			
12 病名オーダー	1 病名オーダー	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 病名は過去の病名、現在の病名を分けて一覧にて表示可能なこと			
		4 病名には、開始日、終了日、主病名、適用保険、各種サイン（疑い、慢性）を記載すること			
		5 運用により、表示の必要がない病名の非表示が可能なこと			
		6 病名はICD10に準拠していること			
		7 国際疾病分類の第11回改訂版（ICD-11）の対応をしていること			
		8 病名の入力はカナ、コード、分類等から入力可能なこと			
		9 病名の検索は、検索文字列による部分一致検索が可能なこと			
		10 病名は任意で分類分けが可能であること			
		11 入力されている病名はカルテ画面に表示可能であること			
		12 医師ごとの使用頻度に応じて頻用病名リストが自動的に作成され、そのリストから病名登録が容易に可能なこと。また登録の際は頭部、尾部、主病名、疑いサインも付加可能なこと			
		13 複数病名を一括して転帰可能なこと			
		14 有効病名、転帰病名一覧は、初期の表示順を設定可能なこと			
		15 カルテ画面で主病名や開始日等が識別可能であること			
		16 カルテ画面を参照しながら、病名登録が可能であること			
		17 設定により豊橋市こども発達センター内で使用頻度の高い接頭語をボタン表示でき、簡便に登録可能なこと			
		18 操作者がよく使用する接頭語を一覧表示可能なこと。また、一覧から接頭語の登録が簡便に行えること			
		19 設定により特定の疾患における一覧表示の背景色を変更可能であること			
		20 病名を流用できること			
13 文書作成オーダー	1 基本機能	1 予め用意した文書テンプレートを流用して、定型書式の文書が作成可能なこと			
		2 作成文書は、患者カルテ画面にて登録日の確認が可能なこと			
		3 作成文書はサーバーに保存され、必要に応じてファイル出力可能なこと			
		4 文書テンプレート毎に、職種別利用権限の設定が可能なこと			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考	
		5 テンプレート保存領域は、システム共通と利用者個別を持つことが可能なこと				
		6 文書のテンプレートはシステム共通、利用者個別ごとに一括管理され、どの端末でも同じテンプレートが表示されること				
		7 システム共通にあるテンプレートは、管理者権限のある職員以外、修正はできないこと				
		8 オーダー画面で表示されるテンプレートの並び順を設定ファイルにより切り替え可能なこと（文書登録順もしくは、テンプレート文書名での昇順）				
		9 オーダー画面で表示されるテンプレートの検索が可能なこと				
		10 作成文書の修正、削除履歴は保存され、過去履歴の文書内容を開覧、印字可能なこと				
		11 既登録文書は、文書作成オーダーのメイン画面を閉じずに連続して閲覧可能なこと				
		12 患者記録、オーダー記録を閲覧しながら、文書の作成が可能なこと				
		13 患者に対し継続的に経過を記載したい文書を患者ごとに管理可能なこと				
		14 サマリー機能の内容を診断書など各種様式に取り込み、表示できること				
		2 システム情報	1 文書テンプレート選択時に、下記の項目が、文書内の所定位置に自動反映可能なこと ・年月日（西暦／和暦）			
		3 患者基本情報	1 ・患者ID ・漢字氏名 ・カナ氏名 ・年齢 ・生年月日 ・性別 ・住所 ・電話番号 ・身長・体重			
		4 紹介患者情報	1 ・紹介元機関、紹介者			
		5 医師・職員情報	1 ・指示医 ・指示医の科 ・操作者			
6 身体的状況	1 ・患者担当職員					
7 アレルギー	1 ・薬剤アレルギー ・食物アレルギー					
8 既往歴病名・コメント	1 ・既往歴病名					
9 各種オーダー情報	1 ・診断病名 ・薬剤名 ・シエーマ ・画像オーダー ・フリーコメント					
	2 オーダー画面を閉じずに、連続して文書の作成が可能なこと					
	3 文書作成の進捗管理が行え、記載内容が確定した段階で更新不可にすることが可能なこと					
	4 文書確定と同時にPDFの作成が可能なこと					
	5 確定前の文書と確定後の文書で、職制単位で参照権限の制御が可能なこと					
	6 マスターにより、レポート登録が必要な文書と不必要な文書の管理が可能なこと					
	7 作成した文書で、レポート登録が必要な文書は、カルテツリー上に明記され操作者がひと目で確認可能なこと					
	8 文書作成オーダー画面より、操作端末のローカル上に、テンプレート文書のコピーが可能なこと					
	9 文書テンプレートは、ファイル単位やフォルダ単位で入れ替えが可能なこと					
	10 既登録文書を流用し当日の文書として作成、登録が可能なこと					
	11 オーダー登録時に作成した文書を自動印刷し、オーダー登録漏れや文書の印刷漏れを防止することが可能なこと					
10 統合レポート機能（PDF管理機能）	1 文書作成にて作成した文書（Word・Excel）をPDFファイルでも管理できること					
	2 PDF化する際にキーワードを付与し、自動的に患者別・カテゴリ別に自動仕分けされ管理ができること					
	3 スキャナなどで取り込んだイメージファイルをPDF化し管理できること					
	4 スキャナなどで取り込む際にバーコードを同時に読み込み、患者別、カテゴリ別に自動仕分けされ管理ができること					
	5 部門システムからの文書データやイメージデータをPDF変換し患者別、カテゴリ別に管理できること					
	6 PDF化したデータに検索用キーワードを付与できること					
	7 検索用キーワードから該当文書を検索できること。また検索結果をCSVファイルへ出力できること					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
14 オーダー通知	1 オーダー通知	1 オーダー登録、変更、削除の状況を、特定端末にリアルタイムで通知可能なこと			
		2 通知対象のオーダーは、処方、検査、画像、注射、汎用、文書、リハビリ等のオーダー種を指定可能であること			
		3 通知は画面ポップアップの他に、音により通知されること			
		4 通知内容は、一覧表示が可能であり確認指示可能なこと			
		5 システムにログインしていても、オーダー登録、変更、削除の状況をリアルタイムで通知可能なこと			
		6 一覧から該当オーダーを指示することにより、該当患者のカルテ画面を表示する機能を有すること			
		7 オーダー通知画面からカルテ内容参照を行う時は、専用のログイン画面を表示して直接カルテ起動を可能とすること			
		8 オーダー登録、変更、削除の状況確認時、修正前と現状の内容を表示し、変更箇所を色分けして表示可能なこと			
		9 通知内容は部署ごとに設定が可能なこと			
15 部門システム連携	1 部門システム連携	1 リハビリ部門システムとの接続も含めた提案をすること 接続実績のある機能を提供すること			
		2 医事会計システムと接続も含めた提案をすること 接続実績のある機能を提供すること			
		3 臨床検査の委託先から提出される検体検査結果情報を取り込むことができること。データ形式などは別途協議の上、取り決めとする。			
16 一括オーダー	1 一括オーダー	1 一括オーダー画面には前回処方日、前回検査日、前回汎用オーダー日、前回画像生理検査日が表示されていること			
		2 一括オーダーでは以下のオーダーの情報が登録可能なこと ・処方オーダー ・検査オーダー ・汎用オーダー ・画像オーダー ・診察記録（フリー定型句）			
		3 日付、診療科、予約科目を指定して、外来患者から患者選択にて、セットから一括オーダーが可能なこと			
		4 任意のまとめ（コミュニケーションフォルダー）された患者一覧で、セットから一括オーダーが可能なこと			
		5 一括オーダーによる絞り込みは、予約診療科、任意のまとめ（コミュニケーションフォルダー）、担当患者などが可能なこと			
		6 一覧形式による患者選択にて、一括Doが可能なこと			
		7 一括Doは、処方オーダー、検査オーダー、汎用オーダー、画像オーダーが可能なこと			
		8 一括Doによる絞り込みは、予約診療科、任意のまとめ（コミュニケーションフォルダー）、担当患者などが可能なこと			
		9 一括オーダー操作のログを採取していること			
		10 ログには以下の内容が保存され参照できること。必要に応じて印刷が可能なこと ・操作日 ・操作内容 ・操作端末 ・操作者 ・対象患者 ・オーダー区分 ・結果 ・メッセージなど			
17 生活歴・病歴管理	1 生活歴・病歴管理	1 生活歴、病歴画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、生活歴、病歴管理画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 以下の項目で、生活歴および現病歴が管理可能なこと			
		3-1 ・年齢、年代の表形式による生活歴／現病歴イベント表示が可能なこと			
		3-2 ・一覧形式による生活歴／現病歴イベント表示が可能なこと			
		3-3 ・一覧形式では、イベント発生時年齢とイベント発生時年月日（西暦）が表示可能なこと			
		3-4 ・入力履歴を管理可能なこと			
		3-5 ・診療記録の履歴を確認可能なこと。参照する履歴日数は設定により自由に変更可能なこと			
		4 個人歴、患者概要（生活歴、現病歴フリー入力領域）、診察内容（診察歴）の表示領域は、ワンクリックで表示／非表示が可能なこと。また操作者単位で次回起動時に引き継げること			
5 履歴印刷（カルテ印刷）が可能なこと					
18 シェングラム管理	1 シェングラム管理	1 以下の項目で、シェングラム管理が可能なこと ・イメージによるシェングラム管理が可能なこと ・テンプレートによるシェングラム作成が可能なこと ・ドラッグ&ドロップ操作による描画が可能なこと ・シェングラムへのコメント付けが可能なこと ・記載済みのシェングラム記号について簡易に修正、移動、削除が可能なこと ・履歴管理が可能なこと			
		2 イメージのシェングラムを文書作成へ反映可能なこと			
		3 履歴印刷（カルテ印刷）が可能なこと			
19 ナビゲーション	1 ナビゲーション	1 ログイン者が確認しなければならない事項を、一覧表示可能なこと			
		2 一人の患者に複数の確認事項があった場合でも、全てを一覧形式で確認可能なこと			
		3 ナビゲーション画面は、システムログイン時にログイン者の判断で起動可能なこと			
		4 ナビゲーション画面は、カルテ起動時に自動起動されること			
		5 ナビゲーション画面は、機能ボタンより起動可能なこと			
		6 ナビゲーション画面は、患者一覧の右クリックメニューより起動可能なこと			
		7 ナビゲーション画面は、メディカルシートからも起動可能なこと			
		8 患者個々に関する承認、確認の一覧を表示可能なこと			
		9 確認依頼など区分ごとで文字色の変更されること			

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考		
		10 任意に設定した確認依頼期限、督促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること					
		11 ナビゲーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと					
		12 履歴印刷（カルテ印刷）が可能なこと ・確認依頼データ ・未承認データ					
		13 ナビゲーション画面のフォントの変更、表示項目をログイン者ごとに自由に設定可能なこと。設定した内容はログイン者の規定値として管理可能なこと					
		14 一覧は以下の項目で、絞り込み表示可能なこと ・科 ・依頼元 ・通知対象者 ・承認 / 未承認 ・期間 ・確認者					
		15 絞り込み条件は、ログイン者が「お気に入り」として保存でき、いつでも使用可能なこと					
		16 一覧の並び替えは、ログイン者ごとに3つのソートキーを設定可能なこと					
		17 一覧は項目ごとに昇順、降順にてソート可能なこと					
		18 一覧は、他科、他職員の内容も表示可能なこと					
		19 スタッフ、担当者が、以下に記載するデータに対し内容の確認依頼を登録可能なこと ・文書作成オーダー ・診療記事 ・処方オーダー ・注射オーダー ・汎用オーダー ・検体検査オーダー ・画像オーダー ・リハビリオーダー					
		20 代行入力されたオーダーは、指示医に対し自動で承認依頼が出ること					
		21 未承認データを一覧表示可能なこと					
		22 未承認データの内容を一覧上で確認でき、カルテを開かなくても承認操作を行えること					
		23 記載した診療記事の確認依頼が出ること					
		24 診療記録の確認依頼は、指示医をワンクリックで選択可能なこと					
		25 一覧上から、対象患者のカルテを開くことが可能なこと					
		26 ログイン時に、督促有無が照会可能なこと					
		27 カルテを開いた時に、当該患者に関する督促有無が照会可能なこと					
		28 ナビゲーションの検索条件は、職制により自由に設定、追加可能なこと					
		29 ナビゲーションの検索条件は、豊橋市こども発達センターでデフォルトの内容を設定可能なこと					
		30 ナビゲーションの検索条件は、操作者の任意で複数設定可能なこと。複数設定した場合は、タブで簡単に切替えが可能なこと					
		31 ナビゲーション画面起動時は、前回開いていたタブが初期表示されること。初期表示するタブは設定で切り替え可能なこと					
		32 タブを切り替えるたびに、最新の情報に更新されること					
		20 精神科固有情報管理	1 精神科固有情報管理	1 精神科基本情報について、以下の内容が登録可能なこと ・保護者 ・同意者 / 保証人 ・患者情報 ・緊急連絡先 ・関係機関、紹介者 / 紹介機関 ・フリーコメント			
				2 精神科基本情報では、以下のことが可能なこと			
				2-1 履歴管理が可能なこと			
				2-2 精神科基本情報は、文書作成へ反映可能なこと			
				2-3 履歴印刷（カルテ印刷）が可能なこと			
				2-4 保護者、緊急連絡先に登録した氏名、住所などの情報は、一操作でコピーが可能なこと			
		21 カンファレンスビューアー	1 カンファレンスビューアー	1 カンファレンスビューアー機能が搭載されていること			
				2 患者カルテを開く同時に、カンファレンスビューアーが自動起動可能なこと。自動起動は操作者の任意で設定可能なこと			
				3 カンファレンスビューアーでは以下の情報を一画面で確認可能なこと ・患者基本情報 ・カルテ情報 ・個人歴 ・生活歴および現病歴			
		4 診療記録は以下の表示条件を指定することで絞り込むことができ、カンファレンスがしやすいよう、目的の情報を素早く表示可能なこと					
		4-1 表示期間は、任意での期間指定、全期間表示から選択可能なこと					
		4-2 診療記事情報は全ての記録、自記録、職制を指定、また表題、区分を指定して表示可能なこと					
		4-3 オーダー情報は、全科、自科、オーダー種から選択可能なこと					
		5 診療記録の表示条件は、任意で表示 / 非表示が可能なこと					
		6 指定した2つの期間の診療内容を表示可能なこと					
		7 シェングラム登録画面を起動可能なこと					
		8 薬歴照会画面を起動可能なこと					
		9 表示内容を印刷可能なこと					
		10 診療情報をワンクリックでタブレットにコピー可能なこと					

【電子カルテ】 大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
		11 診察内容、患者基本、生活歴・病歴管理はそれぞれ切り離して単独画面で確認可能なこと			
		12 生活歴、病歴管理の個人歴、生活歴および現病歴はそれぞれ切り離して単独画面で確認可能なこと			
22 Myチャート	1 Myチャート	1 Myチャート画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、Myチャート画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 Myチャートは、以下の内容について検索や時系列表示が可能なこと ・処方オーダー ・注射オーダー ・画像オーダー（放射線、生理、心理検査）			
		4 表示する項目は、登録されているマスターから操作者が自由に選択可能なこと。表示している患者が実施している項目からも選択可能なこと			
		5 チャートは病院、診療科、職制、操作者、患者ごとに管理可能なこと			
		6 チャートはGUIにより作成が可能で、表示対象項目、表示順など自由な変更が可能なこと。表示対象項目の検索は、名称検索、患者のオーダー履歴から検索が可能なこと			
		7 時系列の表示は14日間表示、7日間表示、1日（24時間）表示切替が可能なこと			
		8 チャートは情報分類（オーダー種）ごとに、色分けし見やすくすること			
		9 表示対象とするオーダーの進捗を、設定で変更可能なこと			
		10 カルテ起動時に自動で起動することが可能なこと			
23 処置室照会	1 処置室照会	1 外来患者のオーダー内容（処方、注射、汎用、放射線、生理、心理検査）および進捗状況が確認可能なこと			
		2 患者を指定しカルテを起動可能なこと			
		3 患者を指定し、オーダー内容の確認が可能なこと			
		4 患者のオーダーを指定し実施入力が可能なこと。また、患者カルテ画面からも実地入力可能なこと			
24 他科紹介	1 他科紹介	1 オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと			
		2 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること			
		3 他科への紹介状を作成可能なこと（紹介元、紹介先、診察場所、診察日時、診察予約、紹介目的、紹介内容）			
		4 紹介状を印刷可能なこと			
		5 紹介内容の定型文管理が可能なこと			
		6 紹介内容はカルテに記載されること。			
		7 診察予約を取得した場合、外来患者一覧に紹介患者マークが表示されること			
		8 紹介内容は紹介先へ通知されること			
		9 他科紹介患者一覧にて他科からの紹介情報が確認可能なこと。また、未読、既読を確認可能なこと			
		10 他科からの紹介に対し返書の作成が可能なこと			
		11 返書内容の定型文管理が可能なこと			
		12 返書の編集画面は、クリック数削減を目的にカルテ画面からダイレクトに起動可能なこと			
		13 返書を印刷可能なこと			
		14 返書はカルテに記載されること			
		15 他科紹介患者一覧にて他科へ紹介した患者の情報が確認可能なこと。また、返書の有無を確認可能なこと			
		16 日付未定の他科紹介が可能であること			

【電子カルテ】	大項目	中項目	小項目	判定 (A・B・C)	代替案	備考
1	データ移行	1 基本事項	1 電子カルテからのデータ移行に関しては、以下の要件を満たすこと。			
			2 既存電子カルテシステムの一部のデータ、マスタ等を今回導入する電子カルテシステムに移行できること。 (詳細な移行対象は2.で示す)			
			3 移行作業は当院職員に大きな負担をかけることなく、安全かつ確実に移行して、病院業務に支障を来さないこと。			
			4 なお、既存データの移行作業費用は、応札ベンダーの負担と責任において行うこと。			
			5 移行スケジュール、移行方法及び確認方法等は、当院と十分協議のうえ移行計画（ハードウェア・ソフトウェアを含む）を決定すること。			
		2 電子カルテシステム データ	1 患者基本情報を全件移行可能なこと 患者氏名、患者かな氏名、生年月日、性別、住所、郵便番号、電話番号、保険情報			
			2 病名情報は医事会計システムから移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照及び更新できること。 また、医事会計システムと連動可能な状態とすること			
			3 既存電子カルテシステムに保存されている患者プロフィールの以下情報を全件移行可能なこと。 身長、体重、血液型、薬剤禁忌、食物禁忌、感染症 ただし、直近の最新データのみとする。			
			4 既存電子カルテシステムに保存されている付箋情報が全件移行できること			
			5 既存電子カルテシステムに保存されている診察記事情報が全件移行できること シエマ、貼り付け画像を除く情報			
			6 既存電子カルテシステムに保存されているスキャナデータが全件移行できること			
			7 既存電子カルテシステムに保存されている文書作成データが全件移行できること			
			8 既存電子カルテシステムに保存されている処方オーダが移行可能なこと また、Do入力用データとして活用できること 対象期間：過去5年分データ			
			9 既存電子カルテシステムに保存されている診療予約情報を移行すること 対象期間：今回導入する電子カルテシステムの稼働日以降の未来日データ + 過去1年分データ			